

信 州 大 学

総合健康安全センター一年報

令和5年度

信州大学総合健康安全センター

(作成担当者(敬称略))

目次

・	はじめに	1
・	総合健康安全センター組織	2
・	令和5年度総合健康安全センター年間事業・業務等実施状況	3
I	健康管理	
1.	健康診断	
1)	健康診断の実施	4
2)	健康診断事後措置・保健指導	6
2.	保健室における感染症対策	6
3.	メンタルヘルス	
1)	休学・不登校等の学生対応, 休職教職員対応	6
2)	メンタルヘルス対策	9
4.	過重労働による健康障害防止対策	10
5.	診療・応急措置	11
6.	感染症対策	11
7.	健康教育	
1)	健康科学・理論と実践	11
2)	メンタルヘルスに関する教育	13
3)	一次救命講習	16
II	安全衛生	
1.	総括管理	
1)	安全衛生に関する方針・目標・計画の策定と評価	16
2)	学内の実態調査と情報の更新	17
3)	安全衛生管理体制の構築	17
4)	安全衛生委員会及び学生委員会	18
5)	ネットワーク構築	18
6)	緊急事態への対応	18
7)	環境活動との連携	19
8)	化学物質リスクアセスメントの実施	19
2.	作業環境管理	
1)	職場巡視	19
2)	作業環境測定	20
3)	薬品管理システム	20
4)	ハザードマップの作成	20
3.	作業管理	
1)	学内の実態把握	20
2)	実態に即した効果的な職場巡視の計画・実施	21
3)	日常の自主的管理の支援	21
4)	産業保健スタッフによる研究室の支援	21

4. 健康管理	
1) 過重労働による健康障害防止対策	22
2) 喫煙対策	22
3) ストレスチェック制度	22
5. 安全衛生教育	23
<資料編>	
資料1 学生定期健康診断受診率	24
資料2 学生への生活習慣に関する調査	31
資料3 学生定期健康診断精検結果	36
資料4 令和3年度学部生, 院生 過年度・休学・退学実態調査結果	38
資料5 施設利用状況	47

はじめに

令和5年5月8日、COVID19は5類感染症に位置付けが変更されたことに伴い全学新型コロナウイルス感染症対策本部が解散され、その後の対応は他の感染症と同様に総合健康安全センター主導により対応することとなりました。社会が通常の活動を行うようになるなかで、COVID19感染者は学内でも減少しても秋頃からはインフルエンザの感染が急増し、一年を通じて感染対応に多くの労力が要することには余り変化はありませんでした。講義などあらゆる場面を通じて感染症予防の啓蒙は継続し、COVID-19対策については学生向け学習教材、教員用の資料の提供を続けています。感染症は自分が罹患しないように注意するだけでなく、「自分が罹患した際に周囲に広めない行動をとる」という教育を重視してきました。感染症等報告システムによってリアルタイムに感染状況を把握する事ができ、集団感染の兆候がみられた場合には迅速に対応し感染拡大を最小限に抑えることが出来ました。

健康診断は感染対策を講じつつ従来の方で無事実施できました。感染者の発生状況は令和2年から稼働している感染症登録システムを引き続き運用し、常時モニターを継続しましたが、休日の対応は必要最小限とし医療職の人的リソースは通常業務時間内に完結できるよう簡略化をすすめましたが、大きな問題は生じずに済みました。大学の戦略的経費「保健管理のDx：医療職のリソースを選択・集中するための保健管理システム構築」により導入した保健管理システムは4年度から稼働開始し、5年度は種々のレベルアップ、セキュリティ対策の補強も行いました。健康診断の結果入力などの事務作業は大幅に軽減され、進級に伴い移動する学生や転勤する職員の健康管理も継続して経過を追える体制を漸くつくる事ができました。今後の教職員学生の健康支援がより円滑に行われ充実したものになることが期待されます。

禁煙推進については、敷地内全面禁煙となり8年目となりました。いずれのキャンパスでも敷地内の禁煙はほぼ達成されつつありますが、キャンパス周囲のポイ捨てが続いています。禁煙支援を引き続き行うと共に、喫煙の害とマナーについても引き続き啓蒙を行っています。学生の喫煙率は年々低下していますが、教職員の喫煙率があまり低下しないことが大きな問題と感じています。

安全活動では、労働安全衛生法施行令等が改正されたことに伴い、国立大学協会が作成した「大学の自律的化学品管理ガイドライン」が令和5年3月に、6年1月には第2版が公表されました。本学でもこのガイドラインに準拠した、化学品管理体制の刷新が新たな課題となった年でもあります。関係各位にご協力いただき、各研究室単位のリスクアセスメントの的確な実施、各事業場（学部）単位的安全衛生委員会での確認体制が整備されました。これに6年度からは全学レベルでの確認体制の構築についても準備を進めています。

引き続き、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和6年5月

信州大学総合健康安全センター

センター長 森田 洋

<総合健康安全センター組織>

令和6年5月1日現在

センター長（統括産業医）	森田 洋	学校医（非常勤）	
健康教育部門長	高橋 徹	松本キャンパス	
環境・安全衛生部門長	空席（産業医）	内科	安尾将法
		内科	加藤沢子
教員		精神科	江口幸子
教授 森田洋（医師（内科・統括産業医））		皮膚科	山浦麻貴
准教授 高橋 徹（医師（精神科））		婦人科	時光亜希子
助教 山崎 勇（臨床心理士）		教育学部	
		内科	佐藤俊一
看護職		精神科	竹内博人
松本キャンパス		工学部	
樋口千鶴		内科	武田 毅
藤森美里（育休）		〃	小島貴彦
林 弘子		精神科	中澤友昭
鈴木宏美		農学部	
増田 恵		内科	池上 泰
長崎弥佳（育休）		精神科	向山隆志
教育学部		繊維学部	
児玉邦代		内科	森 浩二
工学部		精神科	遠藤謙二
小川智子			
横井里沙		産業医	
農学部		松本キャンパス事業場	塚原照臣
入原百合		松本附属学校園事業場	堀内博志
繊維学部		医学部附属病院事業場	金井信一郎
渡邊里菜		〃	杉山暢弘
カウンセラー（臨床心理士）		長野（教育）キャンパス事業場	池上俊彦
松本キャンパス		長野附属学校事業場	長谷川航平
金井美保子		長野（工学）キャンパス事業場	長谷川航平
徳永まゆ子		伊那キャンパス事業場	増田雄一
行田太樹（非常勤）		上田キャンパス事業場	森田 洋
教育学部		事務室	
大場美奈		松下哲裕	
宮崎恵美子（非常勤）		眞田敏宏	
工学部		三村佳子	
山崎 勇		忠地美咲	
野村華子			
農学部			
下平憲子			
繊維学部			
山岡俊英			

令和5年度総合健康安全センター年間事業年間事業・業務等実施状況

月	全学事業・会議・委員会・研修会等	実施日等	各キャンパス事業等	実施日等	
4 1 6	・新入生ガイダンス	4/3～	松本	・入学式救護	4/4
	・e-Learning新任教職員研修	4/5～5/31		・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/8～
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	5/11,18,6/22		・新入生健康状態調査票有所見者の健康相談	5/1～
	・講義「メンタルヘルス概論」での「心と健康に関する調査」	5/1～		・ 全学教育センター保健室の開校	削除
	・講義「健康科学・理論と実践」(新入生)	4/10～		・尿検査(未検査学生)	4/24～
	・全学安全衛生委員会	5/17		・禁煙サポート(学生・職員)	4/1～随時
	・新入生健康状態調査票ウェブ回答実施	4/2～28		・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	6/12～
	・日本学生相談学会第41回大会(昭和女子大学)	5/13～15		・職員定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	6/15～
	・新型コロナウイルス対策(注意喚起等)	4/1～	教育	・新学期学生ガイダンス	4/3
	・感染症等報告システム学生対応 報告フォーム教職員対応	4/1～		・2年生、大学院1年生メンタルヘルスクリーニング及び全員面接	4/19,20
	・アレルギー調査	4/1～		・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/5,7,4/10～
				・尿検査(未検査・再検査学生)	4/13,18
			・教育実習事前調査 健康相談及び個別面接	4/31～随時	
			・教育実習連絡会・養護教諭との情報交換会	4/26～随時	
			・教育学部FD	5/10	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	5/19,7/4～	
			・職員定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	5/17,19,5/22～	
		工学	・ 工学部メンタルヘルスセミナーFD	9月に変更	
			・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/5～	
			・尿検査(未検査学生)	4/17～20	
			・3年次編入入試救護	6/2	
			・献血への協力	6/30	
			・ グループカウンセリング(野村カウンセラー)	7月に変更	
		農学	・学部2年次ガイダンス(メンタルヘルスと身体と健康教育)	4/3	
			・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	4/6～随時	
			・尿検査(未検査学生)	4/6～	
			・職員特殊健康診断実施及び事後指導	4/6～	
			・献血への協力	6/21	
			・学生こことからだの健康相談(メール相談)	随時	
		繊維	・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	3/30,31,4/3,4～	
			・尿検査(未検査・再検査学生)	4/18～20	
			・3年次編入・大学院推薦入試救護	5/30	
			・学部2年生向けメンタルヘルス啓発講演会(山岡カウンセラー)	4/6,7,20	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	5/31	
			・留学生ガイダンス	6/15	
			・ 助産所とらみ出前講座(ライフデザインセミナー)	7月に変更	
			・献血への協力	4/25	
7 1 9	・総合健康安全センター運営委員会	9/15	松本	・学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	随時
	・総合健康安全センター業務打合せ会・研修会	8/29		・職員定期健康診断有所見者再検査及び健康相談	随時
	・全学安全衛生委員会	9/20		・ 防災訓練救護班活動	10月に変更
	・学生相談部会	7/31		・オープンキャンパス救護, 信州サイエンスフェスタ救護, 青少年のための科学的祭典救護	7/29,8/5,8/9
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	7/20,9/21	教育	・教育実習中間調査 健康相談及び個別面接	7/19～随時
	・感染症等報告システム学生対応 報告フォーム教職員対応	随時		・教育実習校との情報交換	8/22～10/25
	・第61回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会(昭和大学 上條記念館上條ホール)	7/27,28		・オープンキャンパス救護	8/7
	・メンタルヘルス講演会	9/4	工学	・教職員健康増進講演会	9/6
				・大学院入試救護	7/1
				・職員・学生特殊健康診断実施及び事後指導	7/14
				・工学部メンタルヘルスセミナーFD	9/4
				・ グループカウンセリング	7/28,9/1,22
			・救急救命講習会	9/19	
			・職員定期健康診断・10月入学学生定期健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	9/27,29	
		農学	・3年次編入・大学院入試救護	7/5,10	
			・農学部FD	7/18	
			・オープンキャンパス救護	7/22	
			・職員健康診断・特殊健康診断実施及び事後指導	9/12～随時	
			・学生こことからだの健康相談(メール相談)	随時	
		繊維	・大学院入試救護	8/25	
			・オープンキャンパス救護	8/5	
			・ 助産所とらみ出前講座(ライフデザインセミナー)	7/19	
			・救急救命講習会	10月に変更	
10 1 12	・学生相談委員会	11/20	松本	・要管理学生・BMI有所見者再検査及び健康指導	随時
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	10/26,11/16,12/12		・職員定期健康診断有所見者再検査と事後指導	随時
	・講義「メンタルヘルス概論」での「心と健康に関する調査」	10/2～		・ 防災訓練救護班活動	10/17
	・ストレスチェック	10/2～23		・大学祭救護	11/4,5
	・国立大学保健管理施設協議会2023年度協議会総会(北陸先端科学技術大学院大学)	10/6	教育	・教職員健康増進講演会	9月に変更
	・全国大学保健管理協会第61回全国大学保健管理研究集会(金沢大学 石川県立音楽堂)	10/4,5		・救急救命講習会	12/13,15
	・感染症等報告システム学生対応 報告フォーム教職員対応	随時		・教育実習連絡会	11/29
	・ 第61回全国学生相談研修会(第1部オンライン, 第2部対面開催)	削除	工学	・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	12/8,1/16
	・衛生管理者・安全管理者研修会	12/11		・防災訓練救護班活動	11/22
				・ オープンキャンパス救護	10/14
				・推薦・大学院入試救護	11/19
				・エイズ予防普及啓発ブースの設置への協力	11/25～12/1
			・献血への協力	12/8	
			・職員・学生特殊健康診断実施及び事後指導	12/15	
			・ 防災訓練救護班活動	中止	
			・ グループカウンセリング(野村カウンセラー)	中止	
		農学	・防災訓練救護班活動	10/23	
			・大学祭救護	10/18,19	
			・献血への協力	11/15	
			・推薦・大学院入試救護	11/18,20	
			・学生こことからだの健康相談(メール相談)	随時	
		繊維	・職員健康診断実施及びび有所見者再検査と事後指導	10/3～	
			・献血への協力	11/29	
			・職員、学生特殊健康診断実施及び事後指導	11/21,12/1	
			・救急救命講習会	10/24	
			・推薦入試救護	11/18	
			・ 防災訓練救護班活動	中止	
1 1 3	・入学試験救護(大学共通テスト・前期後期試験)	1/13,14,2/25,26,3/12	松本	・職員・学生特殊健康診断実施及び事後指導	随時
	・全学安全衛生委員会	2/21		・健康診断等統計まとめ	2/1～
	・ 総合健康安全センター業務打合せ会・研修会	中止	教育	・次年度新入生麻疹予防接種履歴調査	3/11～4月中旬
	・学生相談部会	2/29	工学	・特別選抜入試救護	2/15
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	1/25,2/15,3/28		・ グループカウンセリング(野村カウンセラー)	中止
	・第25回フィジカルヘルスフォーラム(北海道教育大学)	3/14,15	農学	・職員特殊健康診断実施及び事後指導	2/20
	・ 衛生管理者・安全管理者研修会	12月に変更		・卒業式救護	3/23
	・感染症等報告システム学生対応 情報カード教職員対応	随時		・学生こことからだの健康相談(メール相談)	随時
	・アレルギー調査	1/24～	繊維	・教職員健康増進講演会(産業医森田先生)	2/22
				・卒業式救護	3/24

< 日常業務 >

(1) 保健管理活動業務

- ・診療(内科・婦人科・皮膚科・精神科)
- ・カウンセリング(含附属学校園スクールカウンセリング)・健康相談・応急手当
- ・感染症対策
- ・救急箱貸出・健康診断証明書発行・臨時健康診断(体育授業・大会出場関係)
- ・内科医、精神科医、嘱託産業医巡回
- ・健康増進教室

(2) 安全衛生活動業務

- ・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握
- ・長時間労働対象者に対する産業医面談、医療面談の施行
- ・長期休職者に対する職場復帰プログラムの実践
- ・松本キャンパス安全衛生委員会・安全衛生活動
- ・隔地事業場安全衛生委員会陪席・衛生管理者職場巡視支援
- ・内科医、精神科医、嘱託産業医巡回
- ・労基署各種届出

I 健康管理

心身の健康状態を把握し、健康障害の防止、健康増進を図る。

1. 健康診断

1) 健康診断の実施

教職員、学生の健康状態を把握し、健康障害の防止、健康増進を図る。

(1) 教職員定期健康診断の検査項目

① 法定項目

内科診察、身長、体重、視力及び聴力（1,000ヘルツ及び4,000ヘルツの音に係る聴力）、胸部エックス線検査、血圧の測定、貧血検査（赤血球数、血色素量）、肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）、血中脂質検査（LDL-C、HDL-C、空腹時中性脂肪又は随時中性脂肪）、血糖検査（空腹時血糖又は随時血糖、ヘモグロビンA1c）、尿検査（尿中の糖及び蛋白）、腹囲の測定、心電図検査

② 法定外項目

貧血及び造血器疾患 検査（ヘマトクリット、白血球数、血小板、血清鉄）、消化器疾患検査（ペプシノーゲン、ピロリ菌抗体）、ウイルス性肝炎検査（HBs-Ag（定性）及びHCV-Ab（定性））、膵臓疾患検査（アミラーゼ及びCA19-9）腎疾患検査（クレアチニン）、高尿酸血症（尿酸値）、前立腺がん検査（PSA）、卵巣がん検査（CA125）及び大腸がん検査（便潜血）

令和5年度における教職員定期健康診断は、人間ドック等の受診者を含め予定者はほぼ受診した。学内での健康診断実施は、COVID-19などの感染症対策に十分配慮し、受付時間を指定し混みあわないよう留意した。

(2) 学生の健康診断について

学校保健安全法に基づき、身長・体重測定、視力測定、聴力検査（会話域）、血圧測定、尿検査、胸部X線検査、内科診察を実施した。**（資料1 健康診断受診率）**

新入生約2,000名は松本キャンパスで健康診断を実施し、全員が胸部レントゲンを含め健康診断を受検した。

あわせて「新入生健康状態調査票」をウェブ回答してもらい、既往症や現病とその治療状況・感染症のワクチン接種歴・アレルギー・機能障害等の健康状態を把握し、入学後の体調についても確認を行った。

令和5年度は現病有者141名、アレルギーのうちエピペン携帯者12名とアナフィラキシー既往者33名、機能障害を有する者19名の健康相談を実施した。

授業などで対面での聞き取り時間が確保できない場合、メールでの対応が学生

には有効であった。

新入生についてはBMI28.0以上（62名）と17.0以下（124名）の再計測と生活習慣や健康状態の確認を実施した。

BMIの高い学生は、部活動をやめ受験期に太ってしまった学生が多く、入学後活動量が増えた、間食が少なくなったなどの理由で入学時よりやせている学生がほとんどだった。BMIの低い学生は元来やせ型で入学時と変化のない学生が多かった。

健康診断受診者は現病歴や生活習慣を把握するための問診を実施し、その回答をもとに有所見者には内科診察や健康相談を実施した。

令和4年度から新保健管理システムを導入し、健診結果・診療録・問診票・健康状態調査票結果を電子化することで、学生や教職員が各キャンパスに異動しても健康管理が一元化され各保健室との連携がスムーズになっている。

生活習慣 **（資料2 生活習慣統計）**

- ・喫煙習慣は、学年が上がるに従い喫煙率は少しずつ上昇しているが、全体の喫煙率は時々喫煙する学生を含めて4.6%で前年度とほぼ同じであった。
 - ・飲酒習慣は、全体では毎日飲酒するが1.2%、時々飲酒するが47.9%で、学年が上がるに従い飲酒率は上昇し、3年生では毎日飲酒が1.1%、時々飲酒するが80.3%になっている。
 - ・運動習慣は、平均で時々している学生が63.7%、毎日している学生は10.8%であったが、学年が上がるにつれて毎日運動する割合が増えている。
 - ・平均睡眠時間は学年に大きな差はなく5時間以上6時間未満が60.1%と最も多く、次いで7時間以上8時間未満も29.9%と多かった。
 - ・朝食習慣は、毎日食べている学生は1年生では男子76.8%、女子84.1%だったが、学年が上がるに従いその割合は低下し、2年生以上の男子平均は43.6%、女子は53.3%となった。昨年1年生で平均78.5%朝食をとっていた学生が、今年度2年生になり49.8%に減っていた。
- 朝食をとらない学生は、男子に多い傾向がある。

生活習慣は、入学した直後の1年生時と比較して、学年が上がるに従い飲酒割合や朝食の欠食などが増加している。

喫煙習慣は、1・2年生ではほとんど喫煙者がいないが、3・4年生で5~7%になり、5年以上になると約10%になる。全体的には喫煙率は減っているが、一旦喫煙を開始してしまうと辞めることが困難になる。

この結果を元に、1年生は生活の自己管理ができるように指導すること、また上級生は生活習慣の悪化を抑制するような生活指導を行うことが必要と考えられる。

1年次の「健康科学・理論と実践」で喫煙による影響，体に及ぼす害など喫煙予防について講義をしている。また飲酒についても講義をし，新入生はアルコールパッチテストを全員に配布しセルフチェックを勧め，自分の体質について興味を持つきっかけづくりとなっている。

2) 健康診断事後措置・保健指導

健診結果の有効な活用を行うために事後措置を行う。

健康診断の結果，異常が認められた場合には，個別に診察，再検査，保健指導などの事後指導を実施した。**(資料3 健康診断結果)**

また随時，禁煙希望者への禁煙サポートやメタボリックシンドローム予防のため活動量計なども利用し健康支援を実施した。

2. 保健室における感染症対策

さまざまな感染症の発生に対して，学生は感染症報告システム，教職員は報告フォームを用い健康危機管理を実施している。

令和5年度もCOVID-19の対応が中心となったが，令和5年5月8日からの5類引き下げに伴い，信州大学の「就学、就業が制限される疾病と制限期間」を改定，学生及び教職員に周知し，確定診断のあった者の対応と体調不良者の健康相談を実施，感染症の拡大防止に努めた。(医学部実習生は確定診断がなくても有症状者の健康観察を実施した。)

感染症関連の体調不良者の対応は，学生4,144名(前年12,391名)，教職員104名(前年1,385名)であったが，COVID-19の他に10月からはインフルエンザが増加した。

3. メンタルヘルス

1) 休学・不登校等の学生対応，休職教職員対応

休学・休職の情報収集と分析を行い対応する。教職員については，職場復帰支援プログラムの定着を図る。

(1) 過年度，休学，退学調査と対応

① 調査方法

「休学者・不登校学生の情報収集，分析及び指導方法等」については，平成17年11月8日開催の第46回学生委員会において，総合健康安全センターで実態を把握して学生委員会で指導方法等の検討をすることが了承されており，これに基づき学生の過年度(「標準修業年限超過」をいう。以下同じ。)，休学，退学調査を行っ

た。実際の調査内容は、学部学生については茨城大学から、大学院学生については東京工業大学からの依頼に基づき各学部及び研究科に依頼して作成した令和4年度過年度・休学・退学実態調査を、総合健康安全センター事務室でまとめたものである。

② 調査内容

令和4年度における学部学生、大学院生それぞれの過年度、休学、退学について、過年度は学部等ごとに過年度者数及び過年度者率の年度別変遷データを、休学は学部等ごとに休学者数の年度別変遷、入学年度別及び分類群（背景因子）データを、退学は学部等ごとに退学者数の年度別変遷、入学年度別及び分類群（背景因子）データをまとめた。

また、このデータを各学部等に送付するとともに学生委員会で報告し、学部等において学生指導をする際の参考データとして利用されている。

以下にデータのうち平成30年度から令和5年度の年度別過年度者率、令和4年度の入学年度別休学、退学状況の調査について掲載する。**（資料4）**

<学部学生編>

① 過年度について **（資料4 学部生年限超①）**

平成30年度から令和5年度までの年度別過年度者率「各年度の在学生数に対する過年度者数の割合」の各年度の5月1日現在は、平成30年度から令和2年度までは減少、令和3年度はやや増加し、4年度、5年度は減少した。

② 休学について **（資料4 【学部生休学】②）**

入学年度別の休学者は、海外留学を含めて過年度学生が64名と最も多く、次いで入学4年目の平成31年度が39名、令和2年度が32名、令和3年度が29名、4年度が17名となっている。また、休学者182名に占める過年度学生64名の比率は35.2%（前年度40.6%）で、過年度学生として在学している者に占める休学者の比率は、15.80%（前年度15.77%）と継続して高い傾向にある。

③ 退学について **（資料4 【学部生退学】①）**

令和4年度における退学者は全体で143名（前年度127名・16名増）であった。

入学年度別の退学者を見ると過年度学生が50名で全体の35.0%を占めている（前年度46名（36.2%））。次いで平成31年度が31名、令和2年度が24名、令和3年度が21名、令和4年度が17名となっている。また、退学者143名中111名（77.6%）（前年度127名中98名（77.1%））が男子学生で、そのうちの41名（36.9%）が過年度学生である。

また、在学者全体に対する退学率は1.65%であったが、このうち過年度学生の在学者の退学率は12.35%（前年度（10.09%））と依然高い傾向にある。

<大学院学生編>

① 過年度について

平成30年度から令和5年度までの年度別過年度者率「各年度の在 student 数に対する過年度者数の割合」の各年度の5月1日現在を%で表したものである。

ア 修士 **（資料4 修士年限超②）**

平成30年度から令和3年度までは毎年度減少し、4年度、5年度は増加した。

イ 博士 **（資料4 博士年限超②）**

過年度者率の経時的変化では、過年度者率の高かった総合工学系は、平成30年度から令和3年度まで増加の傾向にあったが、令和3年度は医学系の方が上回った。男女別の平均をみると令和元年度、3年度を除き、女子が男子を上回った。

② 休学について

令和4年度の入学年度別の休学者は、

ア 修士 **（資料4 修士休学②）**

入学年度別の休学者数は、令和3年度入学が14名で休学者全体の35.9%、次いで令和4年度入学が10名、過年度学生が10名でそれぞれ休学者全体の25.6%を占めている。長期履修生としての在学者数に占める休学率は22.22%（前年度52.17%）と減少している。

イ 博士 **（資料4 博士休学②）**

入学年度別の休学者数は、過年度学生が20名と最も多く休学者33名に占める割合は60.6%となっており、過年度学生として在学者数に占める休学率は41.67%と高い。また、研究科別に休学者数をみると、医学系（博士課程【4年制】）が7名と多く過年度学生の休学者全体の35.0%を占めている。

③ 退学について

令和4年度の入学年度退学者は、

ア 修士 **（資料4 修士退学①）**

令和4年度における退学者は全体で28名（前年度40名）である。男子23名（前年度31名）、女子が5名（前年度9名）と男女とも減少している。入学年度別・男女別に見ると、3年度男子11名が最も多い。また、過去6年間の退学者数は、平成29年度、30年度は横ばい、令和元年度、2年度は減少し、3年度に増加し、4年度は減少している。

イ 博士 **（資料4 博士退学①）**

令和4年度における退学者数は全体で39名（前年度48名）であったが、男子が33名（84.6%）と多い。また入学年度別・男女別に見ると、令和1年度男子12名が最も多い。また、研究科別にみると、総合医理工学研究科医学系専攻【4年制】が男子女子合わせて17名（43.6%）、同研究科総合理工学専攻【3年制】が男子女子合わせて9名（23.1%）と多く、両専攻をあわせると休学者全体の66.7%を占めている。なお、過去6年間の退学者数は、平成29年度は増加し、30年度はほぼ横ばい、平成31年度は減少し、令和2年度、3年度に

増加し、4年度は減少している。

(2) 信州大学職場復帰支援プログラムの実施

法人化後に開始した「信州大学職場復帰支援プログラム」は職員に浸透し早期から産業医が復職に関わる体制が確立している。1ヵ月以上病気休業した後に復職する場合には職場復帰支援プログラムを利用して、円滑な職場復帰の支援を行っている。1ヵ月以上の療養を要する診断書が提出されると、職場等から総合健康安全センターに連絡が入り、復帰支援プログラムの第1ステップに則り病気休暇当初からの支援を開始している。このことは、原因は何か、職場に関連した問題が病状に影響を与えていないか否か、病気休暇早期の段階で鑑別することを可能とする。もしも職場に関連した問題が病状に影響を与えている場合には、良質の自宅療養、早期の疾病の改善の実現のために、できる限り早急に対応することとしている。その場合、本人面談のほか、主治医からの情報提供、上司、人事部門、家族等と連携し、病気休暇が長期化しないように努めている。一昨年度からは医学部附属病院の提供する職場復帰プログラム（復職前のリハビリテーション）を利用する職員も増え、復職後も附属病院専門職が職場にアドバイスをする機会がもたれ、より円滑な復帰につながっている。

2) メンタルヘルス対策

カウンセリング体制を整備、充実しつつ、学生および教職員の心の健康管理を行う。学生相談センターと連携、協働して全学の精神保健状況の実態把握に努め、課題を把握し、対策を検討し、対応を図る。

学生のメンタルヘルス対策については、当センター精神科医および臨床心理士が、学生相談センター所属の臨床心理士や各キャンパスの保健師・看護職、各学部学生相談員、担当教職員と連携、協働して取り組んでいる。全てのキャンパス・学部に臨床心理士が常駐する体制によって、緻密で円滑な連携が可能となっている。

教職員のメンタルヘルス対策については、各部署担当の産業医を中心に適宜当センターの精神科医、産業医、臨床心理士が連携し対応している。

令和5年度は精神科医、臨床心理士合わせて全学で延べ4,199名の学生メンタルヘルス相談と延べ263名の職員メンタルヘルス相談が行われた。

個別カウンセリングや心理検査、精神医学的対応のほか、学内外関係部署との連携も適宜行い、学生や教職員に対して最善の支援が行われるよう努めている。また、新生を対象とした共通教育科目「健康科学・理論と実践」の講義「メンタルヘルス概論」において、メンタルヘルスチェック（「大学生活に関する調査」：対人関係、希死念慮、カウンセリング希望などを含めた51項目のアンケート）を実施し、自己のメンタルヘルスに注意を向けることを啓発した。（新生以外では、工学部の2年生以上においてもメンタルヘルスチェックを実施している）。

(1) 各学部相談室にかかる活動

全学部において、各学部学生相談室に担当カウンセラーと保健師・看護職が構成メンバーに加わり、学部の相談委員や教職員と協働連携を図りながら相談室の運営に携わっている。具体的には、相談活動に関するコンサルテーション、相談室主催の企画に関する助言・提案、学生対応の指針作成、チューター面談の補助、FD・SD、支援会議など各学部の特色やニーズに応じた活動を行っている。

(2) 教育学部附属学校園スクールカウンセリング

教育学部附属6校園（長野3校・松本3校園）を対象にスクールカウンセリングを行っている。長野地区、松本地区それぞれ週1日を各校の実情にあわせて時間配分を行い対応している。児童生徒の個別カウンセリングや保護者との個別面談の他、児童生徒・園児の行動観察、教師とのコンサルテーション、チーム支援会議への出席などを行っている。また必要に応じて児童相談所、保健センター、医療機関など学外関係機関との連携も行い、児童生徒・園児へのよりよい支援体制の整備にも努めている。

(3) カウンセラー間の協働・連携

・カウンセラーミーティング

カウンセラーの技術向上や情報共有のため、当センターと学生相談センター所属の臨床心理士合同によるミーティングを計9回（令和5年5月8日、6月5日、7月3日、8月21日、10月2日、11月6日、12月4日、令和6年1月22日、3月18日）（オンライン会議にて開催）を行った。ハイリスク事例の情報共有や対応の検討、発表者持ち回りの事例検討、各学部の状況報告などがその内容である。

4. 過重労働による健康障害防止対策

平成18年度に労働安全衛生法が改正され、信州大学では「過重労働からの健康障害を防ぐための指針」を作成し教職員に対する過重労働対策に積極的に取り組んできている。

裁量労働制の教員は、毎月勤務時間記録書を提出し、本人の申出がある場合と、過重労働（裁量労働制の教員で時間外労働が100時間超もしくは3ヶ月連続80時間超（令和6年2月以降は時間外労働が80時間超）、裁量労働制以外の教職員で時間外労働が60時間超）がみられた教職員に対しては総合健康安全センターから通知し、産業医面談を呼びかけると共に、疲労度チェックを行って頂き健康状態の把握に努めている。また、本人の申出がなくとも、健診の結果及び当センターへの受診や相談の状況及び職場からの意見を考慮し産業医面談を積極的に行い、専門医の受診、治療専念を進言している。

裁量労働制教員の勤務時間記録書の提出の徹底は全学でほぼ100%を達成することができた。また、各事業場（キャンパス）の安全衛生員会でも長時間労働についての議

論が充実してきており、毎年長時間勤務者は減少してきている。また、産業医面談の機会を増やすために、産業医面談は対面に加えて Google meet を利用した遠隔面談を積極的に利用する事で、面談機会を増やしている。一年間で延べ75件の過重労働面談を含む産業医面談を実施した。

そのほか、看護職の段階での連絡、確認、相談によるフォローアップも充実しており、医師が非常勤である事業場での健康管理は円滑に行われている。

5. 診察・応急措置

病気や怪我の措置に当たる。

診察は、内科、精神科、皮膚科、婦人科について、当センター医師、学校医が行い、日常業務は看護職が対応している。また、カウンセラーによる相談も実施している。

(資料5 施設利用状況 学生・職員)

6. 感染症対策

さまざまな感染症の発生に対して健康危機管理として対応を行っている。令和5年度は麻疹・水痘の発生の報告はなかったが、留学生が結核（薬剤耐性輸入結核）発症し療養後復学したが、保健所と協力し内服状況の確認含め対応を継続している。COVID-19は昨年よりも感染者は半減したが学生教職員合わせて1,500名以上の感染がみられた。また、後期からはインフルエンザ感染者が増加し一年間で800名弱の感染が確認された。（注：いずれも出席停止の要件となる感染の届け出のあった人数であり、休業期間中を中心により多くの感染者が発生していたと推測している。）

また、令和6年が最終年度となるHPVワクチンキャッチアップ無料接種については、令和6年夏まで繰り返し女性学生教職員に情報提供、接種の呼びかけを行う計画である。

7. 健康教育

1) 健康科学・理論と実践

全学1年生必須の「健康科学・理論と実践」について、総合健康安全センターは「理論」を担当している。健康増進、生活習慣病を防ぐ、メンタルヘルス、ライフスキルアップ、薬物に対する注意、性の健康について知識の習得を図る目的で、学期を前半、後半にわけて各クラス100名前後の20クラスの学生に対して、計7回の講義を行い、全学教育センターの体育担当教員が8回実技を分担している。本年は昨年度と同様に産婦人科医師の担当を除く講義のすべてを総合健康安全センターの医師・公認心理士が担当した。内容の充実も図り、個人の健康という側面だけでなく、社会全体の問題、ダイバーシティと健康といったアプローチの充実を図った。従来の生活習慣、禁煙、飲酒の害、精神疾患、コミュニケーション、性の健康に加えて、「ダイバーシティと障害」「認知症サポーター養成講座」も健康科学理論の中

で開講している。

(1) 授業のねらい

健康科学・理論は、受講者が学生時代はもとより生涯に渡って心身の健康の維持増進について正しい認識と習慣を得ることを目的とする。

(2) 授業の概要

健康は個人、社会、地球環境にまたがる大きな課題である。こうした観点から、この科目は心身の健康、キャンパスにおける安全、社会における望ましい人間関係、環境と健康、などについての知識と行動規範の修得を目標とし7回の講義を行った。

① イントロダクション、健康なキャンパスライフのために（担当 森田）

本講義開設の主旨、概要、受講に関する注意事項を解説したのち、健康なキャンパスライフを過ごすためのフィジカルヘルス（肉体的な健康）について、食生活、睡眠、禁煙、アルコールの害（アルコールハラスメント対策を含む）、感染予防（麻疹、結核、インフルエンザ、ノロウイルス）について解説した。また、例年学生支援課の協力で講義中にアルコールパッチテストを全新生入生に行っていたが、オンラインのため総合健康安全センター（ワクチン接種開始後は共通教育係で）配布した。アルコールハラスメント、急性アルコール中毒の防止に役立つと期待される。

② メンタルヘルス概論（担当 高橋）

青年期は人生において最も心が激しく揺れ動く時期であり、誰でも心の健康を損なう可能性があるが、そのことを理解している者は少ない。心の健康を維持するために、学生が注意すべきことは何か、また、心の健康を害したときに、どのように対処すべきかについて、主として大学生によくみられる心の病気を取り上げて解説した。

③ ライフスキルアップ（担当 公認心理士）

センターカウンセラーが担当した。社会に適応していくために、大学においてもライフスキル（社会人基礎力）の向上を図ることが求められている。この授業では、対人コミュニケーションに焦点をあてた講義・演習を通して、ともに学び働くために必要な仲間との関係を構築・維持するためのコツを学ぶようにした。大学でも、さらに卒業後にも通用する対人コミュニケーションの体得へ向けた第一歩となることを期待している。

④ ダイバーシティと障害（担当 山崎）

障害に対する理解を深め偏見なく対応するために必要な基礎的知識、姿勢を身につける事を主眼に講義を行った。

⑤ 薬物乱用を防ぐ、海外渡航時に注意すべき感染症（担当 森田）

大麻等違法薬物が学生に蔓延してきている。興味本位で違法薬物に手を出して

しまうことが多いが、市販薬・抗菌薬の乱用の害も増加している。これらの薬物乱用を広く扱い、社会的、健康的両面からの問題を理解し、正しく対処する事の意義を理解するようにした。

また、大学として海外留学を推進するなかで、海外特有の健康問題についての理解を深める重要性が増している。昨年後期から講義内容を改め、海外渡航時に注意すべき感染症に対する予防法危険を事前に予知する事の重要性、その情報を収集する手段についての情報提供、自己管理の動機付けを行った。

⑥ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は厚生労働省が推進する認知症サポーターキャラバン事業「キャラバン・メイト養成研修」を修了したものが、講師となることが出来る。サポーター養成講座を受講した者にはオレンジリングが全国キャラバン・メイト連絡協議会から配布される。森田は松本市の開催するキャラバン・メイト養成研修にも協力し、行政が開催主体である認知症サポーター養成講座を、信州大学生を対象に講義の一環として開催する体制を整えた。本講義によりサポーターとなった者は市全体養成者の半数以上を占めている。

⑦ 性感染症予防、性の健康（保健学科金井教授）

性の健康について正しく理解するための知識を習得し、またパートナーとの関連性も含め、性被害に遭わないために知っておくこと、実践すべき事などを理解するようにした。また、先進諸国のなかで日本ではHIVなど性感染症に罹患する若者が増えている。クラミジア感染症は自覚症状が乏しいが、女性の不妊の要因となりうる。性感染症の概要、予防について解説した。妊娠、性被害など性の健康について解説した。子宮頸がんやHPVワクチンについても情報提供を行っている。

2) メンタルヘルスに関する教育

FD・SD等を通じて、学生相談担当教職員の技能向上を図る。また、学生、教職員が、セルフケア、ラインによるケアができるよう教育を行う。

FD・SD、学生向けガイダンス、ワークショップ等を下記の日時で行った。

(1) FD・SD

・メンタルヘルス講演会

演題：思い通りにならない人生を生きる — マインドフルネスのエッセンス —

講師：高橋美保先生（東京大学大学院教育学研究科教授）

日時：令和5年9月4日（月）

場所：松本キャンパス旭会館3階 大会議室

（後日、eALPSのアーカイブ配信を実施）

- ・医学部保健学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻 臨地実習指導者会議
演 題：「背景に発達障害がある学生への対応・指導」

～コミュニケーションや対応のポイントを考える～

講師：徳永まゆ子カウンセラー
日時：令和5年12月1日（金）
場所：ZOOM配信

・人文学部FD

演題：「人文学部学生の動向～相談活動を通して～」
講師：徳永まゆ子カウンセラー
日時：令和5年6月27日（火）
場所：ZOOM配信

・教育学部FD

演題：「After コロナ移行期の学生支援」
講師：篠田直子准教授・児玉邦代保健師・大場美奈カウンセラー
日時：令和5年5月10日（水）
場所：E504

・農学部FD

演題：「合理的配慮の現状について」
「カウンセリング室利用状況から見える学生の姿」
講師：学生相談センター障害学生支援室・森光晃子助教，下平憲子カウンセラー
日時：令和5年7月18日（火） 13：30～14：30
場所：ZOOM配信

・工学部FD

演題：「工学部の学生相談の動向」
講師：野村華子カウンセラー
日時：令和5年9月4日（月）14：15～15：00
場所：ZOOM配信

・繊維学部FD

演題：「寿命のリスクアセスメント」
講師：森田洋教授
日時：令和6年2月22日（木）
場所：ZOOM配信

・事務協議会SD

演題：管理職向け「ワークエンゲイジメントと心理的安全性～上司の働き方が職

場を変える～」

講師：森田洋教授

日時：令和5年11月20日（月）

場所：ZOOM配信

(2) 新入生・在学生等ガイダンス

＜松本キャンパス＞

- ・新入生ゼミナール「こころの健康」

動画コンテンツ（学生相談センター作成）をWEB上（eALPS）で視聴。

- ・グローバル化推進センター 全学の留学派遣学生（短期留学・中期留学）対象
交換留学派遣学生向けメンタルヘルス・ガイダンス

日時：令和5年7月10日（月）（オンライン）

＜教育キャンパス＞

令和5年4月 2年生，3年生，4年生学生相談室・カウンセラー室ガイダンス

内容：カウンセリング利用など学生相談に関する情報を紹介

令和5年5月 大学院学生相談室・カウンセラー室ガイダンス

内容：カウンセリング利用案内など学生相談に関する資料をeALPSに掲載

＜工学キャンパス＞

工学部2年生全体ガイダンス，3年生全体ガイダンス，修士1年ガイダンスにおいてカウンセリング利用案内を配布した。

＜伊那キャンパス＞

- ・令和5年4月3日（月） 農学部2年生全体ガイダンス

内容：学生生活サイクルとストレス，カウンセリング室をはじめとした各種相談窓口の利用案内

- ・令和5年4月 農学部3年生ガイダンス，大学院生ガイダンス

内容：学生相談室，カウンセリング室利用案内配布

＜上田キャンパス＞

令和5年4月 新年度ガイダンス（オンライン上に動画を掲載）

内容：学生生活サイクルとストレス，カウンセリング利用案内

令和5年6月15日（木） 留学生ガイダンス

講話「留学生生活とこころの健康」

(3) 学生向け講演会・ワークショップ

- ・繊維学部 メンタルヘルス啓発講演会（2年生対象）
 演 題：「健康な学生生活を過ごすために」
 講 師：山岡俊英カウンセラー
 日 時：令和5年4月6日（木），4月7日（金），4月20日（木）（学科ごとに実施）

- ・工学部 グループカウンセリング（研究室対象）
 演 題：「ストレスマネジメント講座」
 講 師：野村華子カウンセラー
 日 時：令和5年7月28日（金）14:30～15:50

- 演 題：「ストレスマネジメント講座」
 講 師：野村華子カウンセラー
 日 時：令和5年9月1日（金）14:30～15:50

- 演 題：「スケジュール管理とプレゼンスキル向上計画」
 講 師：野村華子カウンセラー
 日 時：令和5年9月22日（金）10:00～11:30

3) 一次救命講習

AEDの設置に伴い，一次救命措置が行えるようにする。

平成23年度より従来松本キャンパスの学生及び教職員を対象としていたものを，全学の学生及び教職員を対象を拡大して実施している。松本キャンパスでは松本広域消防局丸の内消防署の指導のもと，例年2回の講習会を開催しており，令和5年度は38名が受講し普通救命講習修了証が交付された。

II 安全衛生

1. 総括管理

教職員と学生の安全衛生管理体制に関する基盤を確立する。

1) 安全衛生に関する方針・目標・計画の策定と評価

学内の実態を反映させ，活動の方針・目標・計画を作成し，定期的に評価，見直しを行う。その中で，労働安全衛生マネジメントの導入を図る。

(1) 安全衛生に関する基本方針

基本理念

信州大学は、本学の教職員・学生の安全と心身の健康を守り、快適で健全な就業・修学環境を確保するため、積極的かつ継続的に安全衛生活動と健康づくりに取り組みます。また、安全衛生に対する意識と環境マインドを併せもつ人材を育成し、地域社会及び国際社会に貢献することを目指します。

基本方針

- 教職員・学生の良好な健康状態を保持できるように、教育研究環境の継続的な改善活動を行います。
- 教職員・学生のニーズに応じた健康増進活動を支援します。
- 教育研究環境における安全衛生活動を通じて、環境マインドを育みます。
- 安全衛生活動において法規を遵守し、倫理を重んじ、自主的な活動を促進します。

(2) 安全衛生活動の年間計画

全キャンパスの年間活動案について、信州大学安全衛生委員会に提示、これをもとにして各キャンパスでも年間計画が策定された。

2) 学内の実態調査と情報の更新

学内の実態調査及び把握を行うことで実態に見合った活動を計画する。実態調査は定期的に行い、更新する。

学内の実態については、日常の診療、健康相談、労働衛生相談、労働災害報告、過重労働面談、職場巡視結果等から、知ることができる。これらの実態把握から見られる傾向をもとに、組織または個人への安全面や衛生面に関する対応を行っている。組織的な対応が必要な場合は、安全衛生委員会、学生委員会及び学生相談委員会を通じて周知を行っている。

3) 安全衛生管理体制の構築

管理体制の構築と再点検、産業保健スタッフの養成と支援を行う。研究室単位の自主管理体制の支援を行う。

(1) 産業医と衛生管理者の養成

法定の週1回の職場巡視に対応するため、法人化後平成22年度まで衛生管理者を養成し、現在は年1回衛生管理者・安全管理者に対する研修を実施している。

また、現在学内の産業医有資格者は合計17名に達している。

(2) 産業医会議の開催

産業医会議は、本学の8事業場の嘱託産業医と当センターの医師が集まり、意見交換、情報共有を行う場である。例年、年1回を目安に開催し、その期間の課

題，過重労働対策，復帰支援状況，各事業場の安全衛生委員会の内容などについて意見交換，情報共有を行っているほか，新規の法改正やガイドライン策定があった場合，本会議においてその紹介と解説を行い，産業医全員で情報共有を行っている。今後も引き続き産業医会議等により各嘱託産業医の活動内容について報告すると共に，法人へ意見すべき事項がある場合には建設的な意見を提案し，その機能を果たして行く予定である。

4) 安全衛生委員会及び学生委員会

実態を確実に把握し，両委員会を通じて活動内容の審議を行う。

年3回，信州大学安全衛生委員会（全学）を開催し，安全衛生活動について審議，報告を行い，全学の安全衛生活動の方向性を定めた。また，各事業場は毎月安全衛生委員会を開催して，安全衛生計画の策定及び実施報告，定期健康診断報告，職場巡視及びその結果への対応，過重労働対策などの活動状況の報告・審議が行われた。総合健康安全センターは，信州大学安全衛生委員会，松本キャンパス事業場安全衛生委員会の報告・審議事項の提案を行った。当センター事務室は，安全衛生委員会における事務局として，報告・審議事項のとりまとめを行っているほか，全学的な対応が必要な事項については，各キャンパスの安全衛生担当窓口へ指示，連絡等を行った。

毎月開催される学生委員会にセンター長，当センター事務室長が出席し，学生の健康管理，メンタルヘルス，過年度・休学・退学実態調査結果への対応など審議・報告を行ってきた。

5) ネットワーク構築（HP，e-learningの活用）

学内の安全衛生活動の支援のため，ネットワークを構築，活用を行う。

学内の安全衛生活動の支援のため，HPを活用し，学生，教職員へ情報発信を行ってきた。薬品管理システム，健診日程の掲示をはじめ各種のお知らせを行った。

6) 緊急事態への対応

学内の各種災害に備えるとともに，事態への対応を行う。

令和5年10月17日(火)，松本キャンパスにおいて教職員及び学生による防災実務の習得，災害時の情報収集・伝達の迅速化および防災意識の高揚を図るため防災訓練が行われた。総合健康安全センターとしては，避難訓練，災害対策組織設置訓練に参加するとともに，災害において傷病者が発生したと想定し，救助実務訓練を行った。

緊急事態への対応の一つとして，学生・教職員の学内でのケガや事故，感染症へ

の対応がある。修学環境や就業環境に原因があると考えられるケガや事故の場合には、現地の視察等を行い、対応を検討している。

7) 環境活動との連携

安全衛生活動を通じて「環境マインドを持つ人材の養成」を行う。

本学は、信州大学環境方針を掲げ、「環境マインドを持つ人材の養成」を行っている。EMS事務局を中心に、内部監査員による内部監査が実施され、本学においては全学的に環境活動が展開されている。一方、安全衛生活動においても、職場環境について衛生管理者及び産業医等が巡視を通じてチェックを行い、改善が行われている。環境活動としての内部監査、安全衛生活動としての職場巡視は双方重なり合う部分もあり、整合性を取り、連携する必要性が時に指摘される。こうした中で、安全衛生の基本方針にある通り、豊かな環境マインドを醸成しつつ、安全衛生意識の向上に努めている。

8) 化学物質リスクアセスメントの実施

労働安全衛生法などの改正に伴い、平成28年から化学物質のリスクアセスメントが義務化され、令和5年4月1日から記録の作成と保存が義務付けられ、令和6年4月1日から化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選出等が義務付けられることになった。令和5年度第3回国立大学法人信州大学安全衛生委員会にて化学物質リスクアセスメントの改正について報告し、各学部等において化学物質を取り扱う全て教職員に周知・徹底するよう依頼した。各研究者により実施されたリスクアセスメントは、薬品件数などを記載した報告書及びリスクアセスメント実施レポート等（結果）を所属部局の安全衛生委員会に報告し、同委員会にてリスクアセスメントの適格性の確認、リスクアセスメントの結果を踏まえ、ばく露される程度を最小限度にするために講ずる措置や濃度基準値設定物質のばく露低減措置などについて調査審議することとした。今後もリスクアセスメント活動を継続して化学物質による障害を予防し、また必要時にはその方法を改善していく予定である。

2. 作業環境管理

作業環境中の危険有害要因を取り除いて適正な作業環境を確保する。

1) 職場巡視

職場巡視を通じて、研究室の作業環境管理を適切なものにする。

定期の職場巡視については、衛生管理者を中心に実施された。それに合わせて産業医や安全管理者の職場巡視が実施された。職場巡視結果は、安全衛生委員会にて報告され、職場環境の状況が周知されると共に職場環境の改善につながっている。

臨時の職場巡視としては、学生や教職員の怪我や事故などが発生した場合に、現場の確認を行った。

2) 作業環境測定

労働安全衛生法施行令第21条に基づく作業環境測定を実施し、結果に基づいた対策を検討する。

作業環境測定は、各事業場において、その職場環境にある危険有害要因に沿って行われた。本学においては、主に電離放射線、有機溶剤、特化物について、作業環境測定が行われた。

3) 薬品管理システム

学内における化学物質使用量の正確な把握を行う。

学内における化学薬品の使用量、在庫量などの把握は、薬品管理システム（IASO）により行われている。

総合健康安全センター事務室は、薬品管理システム運用専門部会の事務局を務め、全学における薬品管理システムの運用の管理を行っている。薬品管理システムに関する情報は、当センターのHPに掲載されており、利用率の向上に努めている。

4) ハザードマップの作成

学内の危険有害要因を化学物質と特定し、その対策を講じる。

ハザードマップの作成は、第1期中期目標・中期計画（平成16年4月1日～平成22年3月31日）において掲げられていた。平成19年度から化学物質を使用する学部においては、学部内の危険薬品所在箇所を記載したハザードマップを作成している。

平成20年度からは、このハザードマップを建物ごとに掲示し、学生を含めた避難訓練に利用する学部もある。

3. 作業管理

作業内容や作業方法を把握し、安全衛生面において適切な作業が行えるようにする。

1) 学内の実態把握

研究室単位等の危険有害要因の把握を行う。

各研究室における危険有害要因は、学部、学科、講座、研究室の研究内容によって非常に異なっている。これら危険有害要因の特定は、基本的にはその場で就業する教職員がその危険性を認識し、対応を図ることを原則としているが、職場巡視の

中で産業保健スタッフが客観的に危険有害要因を把握し、改善を図ることにもなる。
各事業場により異なるが、衛生管理者、安全管理者、産業医、安全衛生担当者等の産業保健スタッフが同行し、巡視を行っている。

2) 実態に即した効果的な職場巡視の計画・実施

実態把握を元にした職場巡視の実施。

職場巡視は、各事業場において、定期的に行われている。学生と教職員が修学・就業する場である大学は、極めて広大な敷地であり、企業や工場における作業工程と異なり危険有害要因が一元管理されているわけではなく、各研究室の実験における作業管理には限界がある。また、危険有害要因と接点がある作業中（実験や研究中）にまさに巡視を計画することは現実的ではなく、産業保健スタッフによる巡視のみでは限界がある。そのため講座や研究室単位による自主的な作業管理が求められ、その中で産業保健スタッフは適切な作業管理のための助言を求められた場合に専門的な立場で問題解決に当たることが期待される。

3) 日常の自主的管理の支援

研究室単位等の自主的管理が促進するようチェックリストの作成と運用を行う。
ヒヤリハットに関する情報の集約を行う。

職場巡視用のチェックリストは、各研究室の自主的な管理を促進させる点でも活用されることを期待している。ただし、特に理系の研究室では、使用している化学物質が非常に多岐にわたっていることもあり、チェックリストの作成事態が容易でなく、使用する化学物質に精通した各研究室の教員による安全衛生管理に委ねられているのが現実である。

ヒヤリハットは、ケガや事故を引き起こしそうになって、ヒヤリとしたり、ハットとしたりした情報を共有し、同様のことを繰り返さないようにする安全衛生活動の一つである。安全衛生委員会で情報を共有し、重大災害を引き起こさないよう周知を行っている。ヒヤリハットの投書に基づき、巡視、委員会における報告・審議を行うことで改善を図った事例もあり、一定の成果を挙げている。

4) 産業保健スタッフによる研究室の支援

産業保健スタッフは、職場巡視等を通じて、研究室等の自主的な作業管理が促進されるように支援する。

職場巡視を通じて発見された問題箇所の改善について、巡視の際に検討も合わせて行っている。巡視によって顕在化した問題点の検討を行うことは、危険有害要因を認知につながり、研究室が自主的な管理を展開して行く上で、教育的な効果があ

るものと考えられる。したがって巡視の積み重ねは、重大災害の防止に効果があるものと考えられる。

4. 健康管理

1) 過重労働による健康障害防止対策

I. 健康管理の項目で述べた。

2) 喫煙対策

信州大学は平成28年4月より敷地内全面禁煙となった。構内の禁煙は順守されており、逸脱した喫煙行為は認めていない。しかし、いずれのキャンパスでも、条例で禁止されているにもかかわらず、門周囲など敷地境界におけるポイ捨てが散見され、その対策が現在課題となっている。松本地区では、令和元年7月1日に松本市受動喫煙防止に関する条例が施行され、これまでの吸い殻のポイ捨てだけでなく、歩きタバコ等も禁止された。松本市にも働きかけ、喫煙者の多い女鳥羽川河川敷には市により喫煙禁止の掲示が設置された。

学生の喫煙率は低下傾向が続いており1.2%（男性1.6%、女性0.5%）と昨年よりもさらに減少した。それに対して採用条件に非喫煙を加える国立大学も複数となる社会状況であるなか、本学教職員の喫煙率があまり減少しないことは積年の課題であり、現在の教職員喫煙率は以前よりも低下しているものの7%である。

3) ストレスチェック制度

労働安全衛生法の改正に伴い、平成28年度よりストレスチェック制度が義務化された。本学においては、本年度から外注業者を変更しすべて（回答と結果の提供）オンラインで実施した。産業医間で集団分析結果を共有し、職場での業務改善に活かす活動を行った。

令和4年度 信州大学ストレスチェック実施報告

1. 実施期間：令和5年10月2日（月）～10月23日（月）

2. 実施者：総合健康安全センター長

3. 事業場別実施状況

事業場名	実施対象者数 (在籍労働者数)	検査を受けた 労働者数	面接指導を受けた 労働者数
松本キャンパス	1,386	738	0
松本附属学校園	70	53	0
医学部附属病院	2,023	842	0
長野（教育）キャンパス	173	107	0

長野附属学校	111	80	0
長野（工学）キャンパス	420	248	0
伊那キャンパス	195	131	0
上田キャンパス	272	160	0
合 計	4,650	2,359	0

※実施対象者数は、令和5年8月1日現在でACSU業務IDを持つ教職員数。但し、アルバイト雇用職員、非常勤講師及び人事データ上就業場所の記載ない非常勤職員（特別招へい教授等）を除く。

5. 安全衛生教育

安全衛生管理体制，作業環境管理，作業管理，健康管理について正しい知識を習得する。今年度からは化学物質の自律的管理，リスクアセスメントの徹底が法的に規定されたことに伴い，あらたなリスクアセスメントの運用制度の周知をはかった。

また，数年来COVID-19対応に伴い中止していた衛生管理者・安全管理者研修も本件をテーマに管理者だけでなく教員も多数参加して開催した。

令和5年12月11日（月）14:00～15:00

松本キャンパス中央図書館2F セミナー室（対面）Google Meet による受講（オンライン）

第一部：演 題 化学物質管理について

講 師 塚原 照臣 先生

信州大学医学部産業衛生学講座 教授

第二部：演 題 スーパーバイザーの実務状況について

講 師 水木 将 先生

信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター 助教

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

共通教育

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
人文学部	164	164 100.00%	164 100.00%	164 100.00%	164 100.00%	151 92.07%
経法学部	191	191 100.00%	191 100.00%	191 100.00%	191 100.00%	177 92.67%
理学部	208	208 100.00%	208 100.00%	208 100.00%	208 100.00%	191 91.83%
医学部保健学科	144	144 100.00%	144 100.00%	144 100.00%	144 100.00%	144 100.00%
医学部医学科	120	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	116 96.67%
教育学部	252	252 100.00%	252 100.00%	252 100.00%	252 100.00%	245 97.22%
工学部	496	496 100.00%	496 100.00%	496 100.00%	496 100.00%	486 97.98%
農学部	177	177 100.00%	177 100.00%	177 100.00%	177 100.00%	170 96.05%
繊維学部	291	291 100.00%	291 100.00%	291 100.00%	291 100.00%	280 96.22%
計	2,043	2,043 100.00%	2,043 100.00%	2,043 100.00%	2,043 100.00%	1,960 95.94%

対象者数は 5月1日現在

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

人文学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	156	127 81.41%	127 81.41%	127 81.41%	21 13.46%	106 67.95%
3年生	154	118 76.62%	118 76.62%	118 76.62%	44 28.57%	91 59.09%
4年生	205	139 67.80%	139 67.80%	139 67.80%	139 67.80%	128 62.44%
計	515	384 74.56%	384 74.56%	384 74.56%	204 39.61%	325 63.11%

経法学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	186	155 83.33%	155 83.33%	155 83.33%	30 16.13%	127 68.28%
3年生	180	155 86.11%	155 86.11%	155 86.11%	83 46.11%	135 75.00%
4年生	213	119 55.87%	119 55.87%	119 55.87%	118 55.40%	114 53.52%
計	579	429 74.09%	429 74.09%	429 74.09%	231 39.90%	376 64.94%

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

5年生以上は4年生に含む

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

理学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	205	178 86.83%	178 86.83%	178 86.83%	52 25.37%	163 79.51%
3年生	196	141 71.94%	141 71.94%	141 71.94%	89 45.41%	131 66.84%
4年生	257	163 63.42%	163 63.42%	163 63.42%	161 62.65%	153 59.53%
計	658	482 73.25%	482 73.25%	482 73.25%	302 45.90%	447 67.93%

教育学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	253	251 99.21%	251 99.21%	251 99.21%	251 99.21%	249 98.42%
3年生	243	242 99.59%	242 99.59%	241 99.18%	241 99.18%	239 98.35%
4年生	252	240 95.24%	240 95.24%	240 95.24%	240 95.24%	236 93.65%
計	748	733 97.99%	733 97.99%	732 97.86%	732 97.86%	724 96.79%

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

5年生以上は4年生に含む

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

工学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	486	474 97.53%	474 97.53%	474 97.53%	344 70.78%	459 94.44%
3年生	514	476 92.61%	476 92.61%	475 92.41%	412 80.16%	459 89.30%
4年生	635	547 86.14%	546 85.98%	545 85.83%	533 83.94%	536 84.41%
計	1,635	1,497 91.56%	1,496 91.50%	1,494 91.38%	1,289 78.84%	1,454 88.93%

農学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	165	159 96.36%	159 96.36%	159 96.36%	113 68.48%	156 94.55%
3年生	180	171 95.00%	171 95.00%	169 93.89%	122 67.78%	164 91.11%
4年生	183	158 86.34%	158 86.34%	157 85.79%	134 73.22%	155 84.70%
計	528	488 92.42%	488 92.42%	485 91.86%	369 69.89%	475 89.96%

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

5年生以上は4年生に含む

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

繊維学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	288	274 95.14%	274 95.14%	274 95.14%	1 0.35%	269 93.40%
3年生	295	265 89.83%	265 89.83%	265 89.83%	47 15.93%	264 89.49%
4年生	343	285 83.09%	285 83.09%	285 83.09%	261 76.09%	282 82.22%
計	926	824 88.98%	824 88.98%	824 88.98%	309 33.37%	815 88.01%

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

5年生以上は4年生に含む

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

医学部保健学科

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	145	140 96.55%	140 96.55%	140 96.55%	140 96.55%	127 87.59%
3年生	141	139 98.58%	139 98.58%	139 98.58%	139 98.58%	132 93.62%
4年生	156	153 98.08%	153 98.08%	153 98.08%	153 98.08%	136 87.18%
計	442	432 97.74%	432 97.74%	432 97.74%	432 97.74%	395 89.37%

医学部医学科

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	120	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	115 95.83%
3年生	120	116 96.67%	116 96.67%	116 96.67%	116 96.67%	105 87.50%
4年生	119	115 96.64%	115 96.64%	115 96.64%	115 96.64%	97 81.51%
5年生	120	119 99.17%	119 99.17%	119 99.17%	119 99.17%	101 84.17%
6年生	150	127 84.67%	127 84.67%	127 84.67%	127 84.67%	127 84.67%
計	629	597 94.91%	597 94.91%	597 94.91%	597 94.91%	545 86.65%

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

医学部保健学科の5年生以上は4年生に含む

医学部医学科の7年生以上は6年生に含む

2023年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

大学院

		対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
人文科学研究科		0	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
教育学研究科		33	33 100.00%	33 100.00%	33 100.00%	32 96.97%	33 100.00%
経済・社会政策科学研究科		1	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
医学系研究科		40	38 95.00%	38 95.00%	38 95.00%	38 95.00%	37 92.50%
総合人文社会科学研究科	人間文化学 心理学 (L)	9	9 100.00%	9 100.00%	9 100.00%	8 88.89%	8 88.89%
	心理学 (E)	35	34 97.14%	34 97.14%	34 97.14%	34 97.14%	34 97.14%
	経済学 法学	8	7 87.50%	7 87.50%	7 87.50%	7 87.50%	7 87.50%
総合理工学研究科	理学	162	143 88.27%	143 88.27%	143 88.27%	141 87.04%	125 77.16%
	工学	630	599 95.08%	599 95.08%	599 95.08%	598 94.92%	596 94.60%
	繊維学	392	383 97.70%	383 97.70%	383 97.70%	199 50.77%	380 96.94%
	農学	132	119 90.15%	119 90.15%	119 90.15%	111 84.09%	118 89.39%
	生命医工学	98	93 94.90%	93 94.90%	93 94.90%	67 68.37%	93 94.90%
総合工学系研究科		0	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
総合医理工学系研究科		107	95 88.79%	95 88.79%	95 88.79%	65 60.75%	88 82.24%
計		1,644	1,553 94.46%	1,553 94.46%	1,553 94.46%	1,300 79.08%	1,519 92.40%

対象者数は 5月1日現在

全学部学年別生活習慣統計

【喫煙】

喫煙	回答者	毎日喫煙		時々喫煙		喫煙しない		以前喫煙していた		
		人	%	人	%	人	%	人	%	
1年生	男	1,269	0	0.0%	3	0.3%	1,262	99.4%	4	0.5%
	女	766	0	0.0%	0	0.0%	765	99.9%	1	0.1%
	計	2,035	0	0.0%	3	0.2%	2,027	99.6%	5	0.3%
2年生	男	1,167	10	0.9%	6	0.5%	1,147	98.3%	4	0.4%
	女	703	0	0.0%	0	0.0%	703	100.0%	0	0.0%
	計	1,870	10	0.5%	6	0.3%	1,850	98.9%	4	0.2%
3年生	男	1,147	44	3.8%	42	3.7%	1,052	91.7%	9	0.8%
	女	663	3	0.5%	8	1.4%	649	97.9%	3	1.2%
	計	1,810	47	2.6%	50	2.8%	1,701	94.0%	12	0.7%
4年生	男	1,240	60	4.9%	75	6.1%	1,070	86.3%	35	2.9%
	女	657	2	1.4%	9	1.4%	640	97.4%	6	1.0%
	計	1,897	62	3.3%	84	4.4%	1,710	90.1%	41	2.2%
5年生	男	78	5	6.5%	1	5.3%	69	88.5%	3	4.1%
	女	38	0	0.0%	1	33.3%	37	97.4%	0	0.0%
	計	116	5	4.4%	2	6.9%	106	91.4%	3	2.7%
6年生	男	90	3	4.1%	6	6.7%	79	87.8%	2	3.9%
	女	33	0	0.0%	0	0.0%	33	100.0%	0	0.0%
	計	123	3	3.0%	6	5.0%	112	91.1%	2	2.9%
研究科	男	1,187	85	7.2%	61	5.2%	1,008	84.9%	33	2.8%
	女	325	2	1.1%	2	1.5%	315	96.9%	6	2.1%
	計	1,512	87	5.8%	63	4.2%	1,323	87.5%	39	2.6%
合計	男	6,178	207	3.4%	194	3.2%	5,687	92.1%	90	1.5%
	女	3,185	7	0.2%	20	0.7%	3,142	98.6%	16	0.5%
	計	9,363	214	2.3%	214	2.3%	8,829	94.3%	106	1.1%

全学部学年別生活習慣統計

【飲酒】

飲酒	回答者	毎日飲酒		時々飲酒		飲酒しない	
		人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,264	0	0.0%	35	2.8%	1,229	97.2%
	女 765	0	0.0%	12	1.6%	753	98.4%
	計 2,029	0	0.0%	47	2.3%	1,982	97.7%
2年生	男 1,168	6	0.6%	187	16.0%	975	83.5%
	女 702	0	0.0%	60	8.5%	642	91.7%
	計 1,870	6	0.3%	247	13.2%	1,617	86.5%
3年生	男 1,146	16	1.4%	918	80.1%	212	18.5%
	女 662	4	0.9%	537	81.1%	121	18.3%
	計 1,808	20	1.1%	1,455	80.5%	333	18.4%
4年生	男 1,238	29	2.4%	936	75.7%	273	22.1%
	女 657	3	0.8%	507	77.2%	147	22.4%
	計 1,895	32	1.7%	1,443	76.1%	420	22.2%
5年生	男 78	1	2.1%	64	82.1%	13	18.8%
	女 38	1	5.0%	29	80.6%	8	21.1%
	計 116	2	2.9%	93	80.9%	21	18.1%
6年生	男 90	3	5.7%	67	74.4%	20	22.7%
	女 33	0	0.0%	29	87.9%	4	15.4%
	計 123	3	4.2%	96	78.0%	24	20.0%
研究科	男 1,187	43	3.6%	877	74.0%	267	22.5%
	女 325	2	1.0%	220	67.7%	103	32.6%
	計 1,512	45	3.0%	1,097	72.6%	370	24.5%
合計	男 6,171	98	1.6%	3,084	50.1%	2,989	48.4%
	女 3,182	10	0.3%	1,394	43.8%	1,778	56.0%
	計 9,353	108	1.2%	4,478	47.9%	4,767	51.0%

全学部学年別生活習慣統計

【運 動】

運動	回答者	毎日運動		時々運動		運動しない	
		人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,238	117	9.6%	878	70.9%	243	19.7%
	女 753	34	4.5%	482	64.0%	237	31.6%
	計 1,991	151	7.6%	1,360	68.3%	480	24.1%
2年生	男 1,169	186	16.2%	736	63.0%	247	21.3%
	女 695	53	7.6%	424	61.0%	218	31.5%
	計 1,864	239	12.9%	1,160	62.2%	465	25.1%
3年生	男 1,136	198	17.5%	710	62.5%	228	20.3%
	女 654	53	8.2%	388	59.3%	213	32.7%
	計 1,790	251	14.1%	1,098	61.3%	441	24.7%
4年生	男 1,233	152	12.5%	781	63.3%	300	24.7%
	女 647	44	7.0%	396	61.2%	207	32.1%
	計 1,880	196	10.6%	1,177	62.6%	507	27.0%
5年生	男 76	21	28.4%	44	57.9%	11	14.7%
	女 38	3	10.0%	26	68.4%	9	24.3%
	計 114	24	21.6%	70	61.4%	20	17.9%
6年生	男 89	21	24.1%	52	58.4%	16	23.2%
	女 33	3	11.5%	21	63.6%	9	29.0%
	計 122	24	20.2%	73	59.8%	25	22.1%
研究科	男 1,187	102	8.8%	773	65.1%	312	26.4%
	女 322	12	3.9%	193	59.9%	117	36.9%
	計 1,509	114	7.7%	966	64.0%	429	28.5%
合計	男 6,128	797	13.1%	3,974	64.8%	1,357	22.2%
	女 3,142	202	6.5%	1,930	61.4%	1,010	32.2%
	計 9,270	999	10.8%	5,904	63.7%	2,367	25.5%

全学部学年別生活習慣統計

【平均睡眠時間】

平均睡眠	回答者	4時間未満		4時間以上		5時間以上		6時間未満		7時間以上		8時間以上		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
1年生	男	1,262	2	0.4%	21	1.7%	208	16.5%	638	50.6%	354	28.1%	39	3.4%
	女	764	0	0.0%	12	1.6%	139	18.5%	395	51.8%	195	25.5%	23	3.1%
	計	2,026	2	0.2%	33	1.7%	347	17.1%	1,033	51.0%	549	27.1%	62	3.3%
2年生	男	1,168	6	0.7%	37	3.2%	182	15.6%	447	38.3%	371	31.9%	125	10.8%
	女	703	3	0.5%	30	4.6%	142	20.2%	297	42.2%	200	28.6%	31	4.7%
	計	1,871	9	0.6%	67	3.6%	324	17.3%	744	39.8%	571	30.6%	156	8.4%
3年生	男	1,145	8	0.7%	41	3.8%	211	18.4%	449	39.2%	342	30.0%	94	8.5%
	女	663	4	0.6%	30	4.6%	153	23.1%	264	39.8%	180	27.3%	32	5.0%
	計	1,808	12	0.7%	71	4.0%	364	20.1%	713	39.5%	522	29.0%	126	7.2%
4年生	男	1,239	3	0.3%	35	2.9%	181	14.6%	499	40.3%	410	33.1%	111	9.0%
	女	655	2	0.3%	23	3.9%	108	16.8%	284	43.4%	187	28.5%	51	7.8%
	計	1,894	5	0.3%	58	3.1%	289	15.3%	783	41.4%	597	31.5%	162	8.6%
5年生	男	78	0	0.0%	2	5.6%	9	12.9%	41	52.6%	25	33.3%	1	5.3%
	女	38	0	0.0%	0	0.0%	6	17.1%	16	42.1%	12	32.4%	4	16.7%
	計	116	0	0.0%	2	3.6%	15	14.3%	57	49.1%	37	33.0%	5	6.2%
6年生	男	90	1	1.1%	2	3.9%	7	7.8%	50	56.2%	23	27.4%	7	9.9%
	女	33	0	0.0%	0	0.0%	5	22.7%	16	50.0%	11	33.3%	1	3.4%
	計	123	1	0.8%	2	2.9%	12	9.8%	66	54.5%	34	27.6%	8	7.3%
研究科	男	1,187	7	0.9%	29	2.4%	171	14.5%	510	43.0%	379	31.9%	91	7.7%
	女	324	2	1.0%	9	4.3%	58	18.0%	131	40.6%	101	31.2%	23	7.4%
	計	1,511	9	0.9%	38	2.5%	229	15.3%	641	42.5%	480	31.8%	114	7.6%
合計	男	6,169	27	0.5%	167	2.7%	969	15.7%	2,634	42.7%	1,904	30.9%	468	7.6%
	女	3,180	11	0.4%	104	3.4%	611	19.2%	1,403	44.1%	886	27.9%	165	5.2%
	計	9,349	38	0.4%	271	2.9%	1,580	16.9%	4,037	43.2%	2,790	29.9%	633	6.8%

全学部学年別生活習慣統計

【朝 食 摂 取】

朝食を 食べる	回答者	毎日食べる		時々食べる		食べない	
		人	%	人	%	人	%
1年生	男 1,267	972	76.8%	246	19.4%	49	3.9%
	女 766	644	84.1%	111	14.9%	11	1.5%
	計 2,033	1,616	79.5%	357	17.6%	60	3.0%
2年生	男 1,170	526	45.0%	469	40.2%	175	15.0%
	女 704	408	58.0%	242	34.4%	54	7.7%
	計 1,874	934	49.8%	711	38.0%	229	12.2%
3年生	男 1,140	436	38.2%	491	43.1%	213	18.7%
	女 662	360	54.4%	230	34.8%	72	10.9%
	計 1,802	796	44.2%	721	40.1%	285	15.9%
4年生	男 1,236	427	34.6%	535	43.4%	274	22.2%
	女 656	315	48.2%	271	41.3%	70	10.8%
	計 1,892	742	39.3%	806	42.6%	344	18.2%
5年生	男 78	40	51.9%	24	30.8%	14	18.7%
	女 38	21	55.3%	12	34.3%	5	35.7%
	計 116	61	52.6%	36	31.3%	19	17.0%
6年生	男 90	55	61.1%	25	28.1%	10	11.6%
	女 33	18	54.5%	13	43.3%	2	6.3%
	計 123	73	59.3%	38	31.4%	12	10.2%
研究科	男 1,188	369	31.2%	487	41.0%	332	28.0%
	女 325	160	49.2%	127	39.3%	38	11.8%
	計 1,513	529	35.0%	614	40.6%	370	24.5%
合計	男 6,169	2,825	45.8%	2,277	36.9%	1,067	17.3%
	女 3,184	1,926	60.5%	1,006	31.6%	252	7.9%
	計 9,353	4,751	50.8%	3,283	35.1%	1,319	14.1%

定期健康診断結果（松本）

		共通教育		人文		経法		理学		医学部医学科		医学部保健科		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
対象者		2,043		515		579		658		629		442		
内科	受診者	2,043	100.0	384	74.6	429	74.1	482	73.3	597	94.9	432	97.7	
	要精検者	23	1.1	4	1.0	5	1.2	4	0.8	5	0.8	4	0.9	
	精検受診者	23	1.1	4	1.0	5	1.2	4	0.8	5	0.8	4	0.9	
	結果	健康	20	1.0	3	0.8	4	0.9	2	0.4	4	0.7	3	0.7
		要観察	2	0.1	1	0.3	1	0.2	2	0.4	1	0.2	1	0.2
要医療		1	0.0											
X-P	受診者	2,043	100.0	204	39.6	231	39.9	302	45.9	597	94.9	432	97.7	
	要精検者	3	0.1							3	0.5	1	0.2	
	精検受診者	3	0.1							3	0.5	1	0.2	
	結果	健康	3	0.1							3	0.5	1	0.2
		要観察												
要医療														
尿	受診者	1,960	95.9	325	63.1	376	64.9	447	67.9	545	86.6	395	89.4	
	要再検者	24	1.2	12	3.7	7	1.9	18	4.0	15	2.8	21	5.3	
	蛋白	16	0.8	6	1.8	1	0.3	8	1.8	11	2.0	12	3.0	
	糖	3	0.2	1	0.3	1	0.3	1	0.2	1	0.2	1	0.3	
	潜血	11	0.6	6	1.8	6	1.6	10	2.2	4	0.7	10	2.5	
	要精検者	2	0.1											
	精検受診者	22	1.1	12	3.7	7	1.9	16	3.6	14	2.6	20	5.1	
	蛋白	4	0.2			1	0.3	3	0.7	1	0.2	1	0.3	
	糖	2	0.1			1	0.3					1	0.3	
	潜血	2	0.1	1	0.3	3	0.8	3	0.7	2	0.4	1	0.3	
	結果	健康	17	0.9	10	3.1	4	1.1	11	2.5	13	2.4	18	4.6
		要観察	1	0.1	2	0.6	3	0.8	4	0.9			2	0.5
		要医療	4	0.2					1	0.2	1	0.2		
血圧	受診者	2,043	100.0	384	74.6	429	74.1	482	73.3	597	94.9	432	97.7	
	要再検者	177	8.7			17	4.0	18	3.7	27	4.5	9	2.1	
	低血圧													
	境界													
	高血圧	177	8.7			17	4.0	18	3.7	27	4.5	9	2.1	
	I度													
	II度	173	8.5			16	3.7	18	3.7	26	4.4	9	2.1	
	III度	4	0.2			1	0.2			1	0.2			
	要精検者													
	精検受診者	163	8.0			16	3.7	15	3.1	22	3.7	8	1.9	
	低血圧													
	境界	97	4.7			10	2.3	13	2.7	12	2.0	3	0.7	
	高血圧	18	0.9			3	0.7	3	0.6	6	1.0	2	0.5	
	I度													
	II度	14	0.7			3	0.7	3	0.6	6	1.0	1	0.2	
	III度	4	0.2									1	0.2	
	結果	健康	163	8.0			14	3.3	14	2.9	22	3.7	8	1.9
要観察						1	0.2							
要医療						1	0.2	1	0.2					

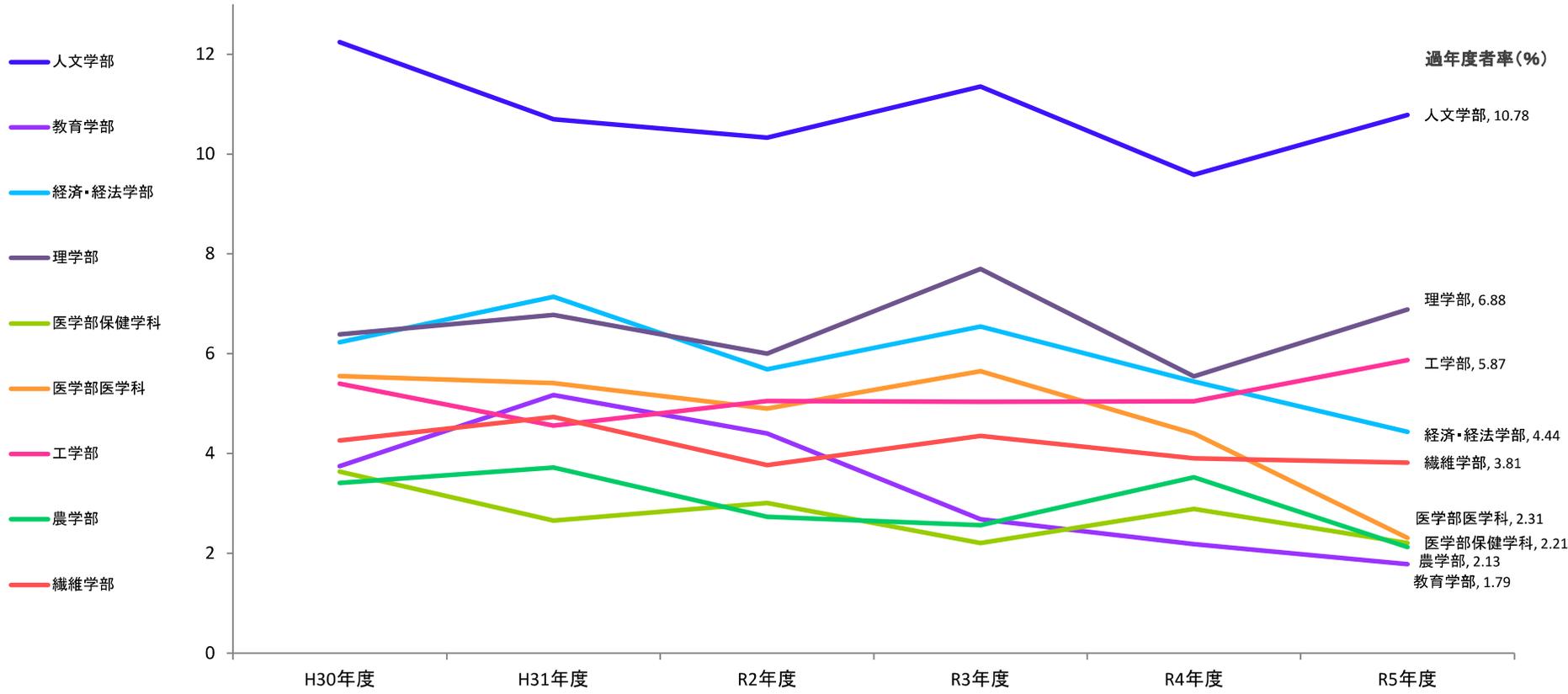
定期健康診断結果（全学）

		教育		工学		農学		繊維		松本		大学院		計		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
対象者		748		1,635		528		926		4,866		1,647		10,350		
内科	受診者	732	97.9	1,494	91.4	485	91.9	824	89.0	4,367	89.7	1,553	94.3	9,455	91.4	
	要精検者	5	0.7	5	0.3	2	0.4	2	0.2	45	1.0	6	0.4	65	0.7	
	精検受診者	5	0.7	5	0.3	2	0.4	1	0.1	45	1.0	5	0.3	63	0.7	
	結果	健康	4	0.5	5	0.3	2	0.4	1	0.1	36	0.8	5	0.3	53	0.6
		要観察	1	0.1							8	0.2			9	0.1
要医療										1	0.0			1	0.0	
X-P	受診者	732	97.9	1,289	78.8	369	69.9	309	33.4	3,809	78.3	1,300	78.9	7,808	75.4	
	要精検者	3	0.4	2	0.2	3	0.8	2	0.6	7	0.2	6	0.5	23	0.3	
	精検受診者	3	0.4	2	0.2	3	0.8	2	0.6	7	0.2	6	0.5	23	0.3	
	結果	健康			1	0.1					7	0.2	1	0.1	9	0.1
		要観察	3	0.4			3	0.8	2	0.6			5	0.4	13	0.2
要医療				1	0.1									1	0.0	
尿	受診者	724	96.8	1,454	88.9	475	90.0	815	88.0	4,048	83.2	1,519	92.2	9,035	87.3	
	要再検者	31	4.3	27	1.9	28	5.9	35	4.3	97	2.4	61	4.0	279	3.1	
	蛋白	21	2.9	14	1.0	16	3.4	10	1.2	54	1.3	26	1.7	141	1.6	
	糖	2	0.3	3	0.2	1	0.2	3	0.4	8	0.2	9	0.6	26	0.3	
	潜血	8	1.1	13	0.9	11	2.3	22	2.7	47	1.2	28	1.8	129	1.4	
	要精検者									2	0.0			2	0.0	
	精検受診者	27	3.7	14	1.0	26	5.5	22	2.7	91	2.2	53	3.5	231	2.6	
	蛋白	3	0.4	7	0.5	1	0.2	4	0.5	10	0.2	4	0.3	29	0.3	
	糖			1	0.1					4	0.1	2	0.1	7	0.1	
	潜血	3	0.4	7	0.5	1	0.2	12	1.5	12	0.3	10	0.7	45	0.5	
	結果	健康	24	3.3	12	0.8	26	5.5	18	2.2	73	1.8	45	3.0	196	2.2
		要観察	2	0.3	1	0.1			3	0.4	12	0.3	7	0.5	25	0.3
		要医療	1	0.1	1	0.1			1	0.1	6	0.1	1	0.1	10	0.1
血压	受診者	733	98.0	1,496	91.5	488	92.4	824	89.0	4,367	89.7	1,553	94.3	9,461	91.4	
	要再検者	31	4.2	63	4.2	22	4.5	51	6.2	248	5.7	86	5.5	501	5.3	
	低血压															
	境界															
	高血压	31	4.2	63	4.2	22	4.5	51	6.2	248	5.7	86	5.5	501	5.3	
	I度															
	II度	30	4.1	59	3.9	20	4.1	50	6.1	242	5.5	83	5.3	484	5.1	
	III度	1	0.1	4	0.3	2	0.4	1	0.1	6	0.1	3	0.2	17	0.2	
	要精検者															
	精検受診者	23	3.1	50	3.3	21	4.3	44	5.3	224	5.1	73	4.7	434	4.6	
	低血压															
	境界	5	0.7	43	2.9	6	1.2	24	2.9	135	3.1	32	2.1	245	2.6	
	高血压	17	2.3	10	0.7	1	0.2	7	0.8	32	0.7	18	1.2	85	0.9	
	I度															
	II度	17	2.3	10	0.7	1	0.2	7	0.8	27	0.6	17	1.1	79	0.8	
	III度									5	0.1	1	0.1	6	0.1	
	結果	健康	14	1.9	50	3.3	21	4.3	44	5.3	221	5.1	68	4.4	417	4.4
要観察		9	1.2							1	0.0	3	0.2	13	0.1	
要医療										2	0.0	2	0.1	4	0.0	

平成30年度～令和5年度 学部別過年度者数・過年度者率の変遷

(過年度者率＝各年度の在学学生数に対する標準修業年限超過学生数の割合)

区分	H30年度			H31年度			R2年度			R3年度			R4年度			R5年度		
	在学者数	過年度者数	過年度者率(%)															
人文学部	735	90	12.24	729	78	10.70	707	73	10.33	696	79	11.35	699	67	9.59	705	76	10.78
教育学部	1,068	40	3.75	1,044	54	5.17	1,021	45	4.41	1,008	27	2.68	1,005	22	2.19	1,006	18	1.79
経済・経法学部	818	51	6.23	812	58	7.14	773	44	5.69	764	50	6.54	753	41	5.44	744	33	4.44
理学部	861	55	6.39	856	58	6.78	850	51	6.00	871	67	7.69	848	47	5.54	857	59	6.88
医学部保健学科	605	22	3.64	603	16	2.65	599	18	3.01	588	13	2.21	589	17	2.89	588	13	2.21
医学部医学科	756	42	5.56	758	41	5.41	755	37	4.90	761	43	5.65	750	33	4.40	735	17	2.31
工学部	2,149	116	5.40	2,106	96	4.56	2,097	106	5.05	2,105	106	5.04	2,100	106	5.05	2,112	124	5.87
農学部	733	25	3.41	726	27	3.72	695	19	2.73	703	18	2.56	709	25	3.53	703	15	2.13
繊維学部	1,220	52	4.26	1,226	58	4.73	1,221	46	3.77	1,218	53	4.35	1,204	47	3.90	1,206	46	3.81
合計	8,945	493	5.51	8,860	486	5.49	8,718	439	5.04	8,714	456	5.23	8,657	405	4.68	8,656	401	4.63



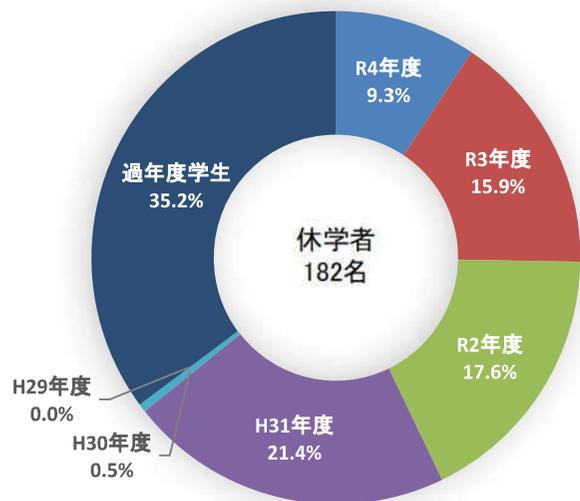
令和4年度における入学年度別休学者数調（その2 簡略版）

単位：人

学部/入学年度	R4年度		R3年度		R2年度		H31年度		H30年度		H29年度		過年度学生		合計	
人文学部	2	(1)	6	(0)	6	(0)	10	(1)					18	(0)	42	(2)
教育学部	1	(0)	2	(0)	3	(0)	1	(0)					3	(0)	10	(0)
経済・経法学部	0	(0)	1	(0)	1	(0)	2	(0)					6	(0)	10	(0)
理学部	5	(0)	3	(0)	3	(0)	5	(0)					4	(0)	20	(0)
医学部保健学科	4	(0)	4	(0)	5	(0)	0	(0)					1	(0)	14	(0)
医学部医学科	0	(0)	0	(0)	2	(0)	1	(0)	1	(1)	0	(0)	3	(0)	7	(1)
工学部	1	(0)	5	(0)	3	(1)	12	(0)					12	(0)	33	(1)
農学部	1	(0)	3	(0)	4	(0)	4	(0)					7	(0)	19	(0)
繊維学部	3	(0)	5	(0)	5	(0)	4	(0)					10	(0)	27	(0)
計	17	(1)	29	(0)	32	(1)	39	(1)	1	(1)	0	(0)	64	(0)	182	(4)

※()内は、積極的理由群の「留学のため」で、内数を示す。 ※編入生は編入先の年度に含めた。

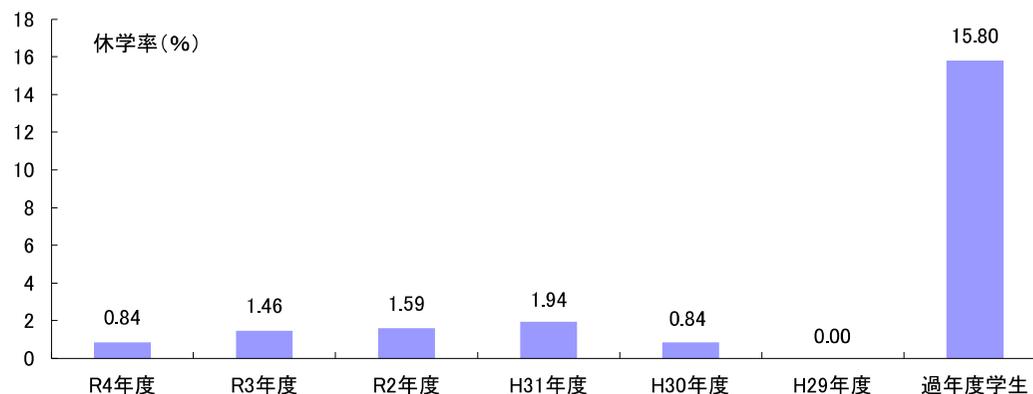
R4年度休学者の入学年度別割合



※H29年度・H30年度入学の休学者は医学科のみ対象。

在学者総数に占める休学者の割合（入学年度別）

入学年度	R4年度	R3年度	R2年度	H31年度	H30年度	H29年度	過年度学生	合計
休学者数	17	29	32	39	1	0	64	182
在学者数	2,013	1,980	2,011	2,010	119	119	405	8,657
休学率(%)	0.84	1.46	1.59	1.94	0.84	0.00	15.80	2.10



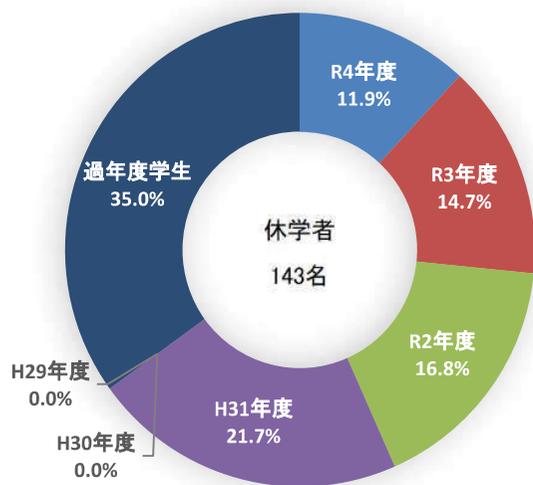
令和4年度における入学年度別退学者調

※過年度学生：標準修業年限超過の学生

学部/入学年度	R4年度			R3年度			R2年度			H31年度			H30年度			H29年度			過年度学生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文学部	2	1	3	1	3	4	2	3	5	2	1	3							8	5	13	15	13	28
教育学部					1	1					1		1							1	1	1	2	3
経済・経法学部	1		1	2		2	2	1	3	1		1							4		4	10	1	11
理学部	5		5	3		3	4		4	6	2	8							6		6	24	2	26
医学部保健学科				1	1	2		1	1											1	1	1	3	4
医学部医学科																						0	0	0
工学部	2		2	3		3	7		7	10		10							15		15	37	0	37
農学部	1	2	3	1	1	2	1		1	2	2	4							2	1	3	7	6	13
繊維学部	2	1	3	3	1	4	1	2	3	4		4							6	1	7	16	5	21
計	13	4	17	14	7	21	17	7	24	26	5	31	0	0	0	0	0	0	41	9	50	111	32	143

※編入生は編入先の年度に含めた

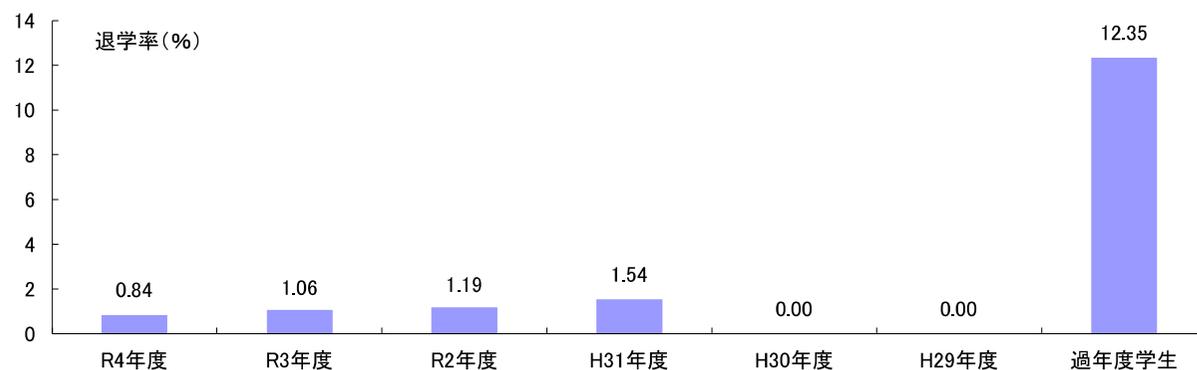
R4年度退学者の入学年度別割合



※H29年度・H30年度入学の退学者は医学科のみ対象。

在学者総数に占める退学者の割合(入学年度別)

入学年度	R4年度	R3年度	R2年度	H31年度	H30年度	H29年度	過年度学生	合計
退学者数	17	21	24	31	0	0	50	143
在学者数	2,013	1,980	2,011	2,010	119	119	405	8,657
退学率(%)	0.84	1.06	1.19	1.54	0.00	0.00	12.35	1.65



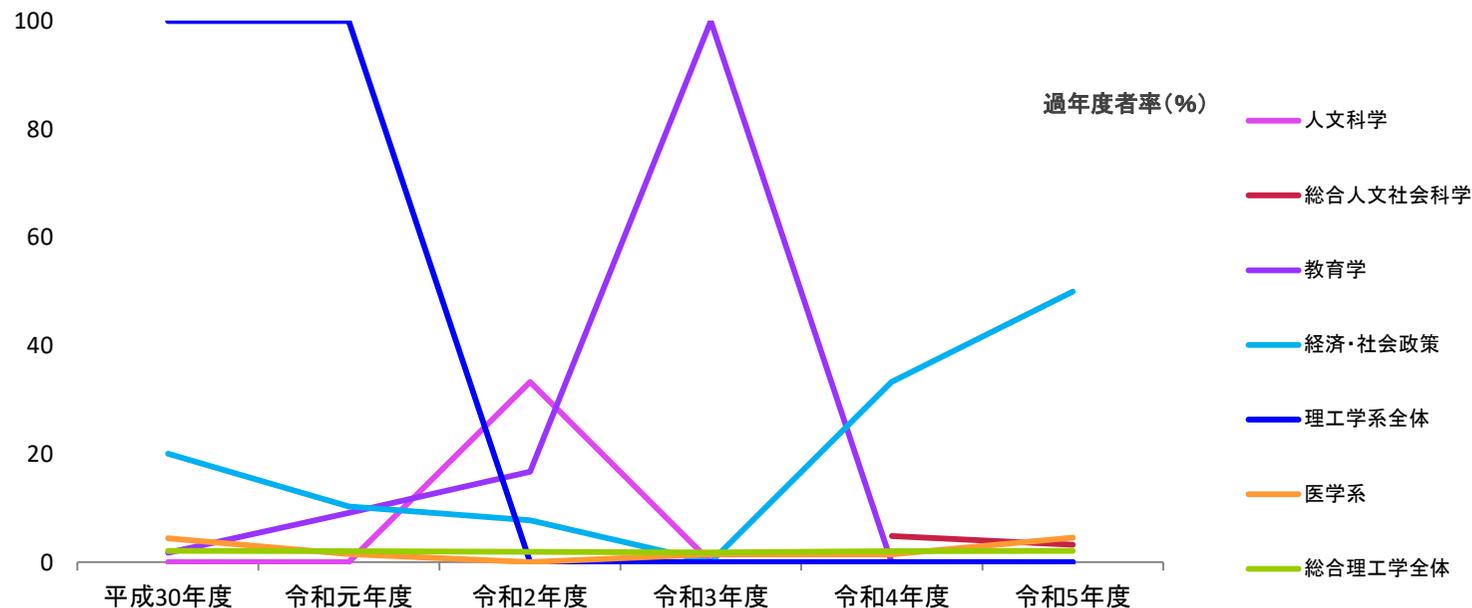
平成30年度～令和5年度 年度別過年度者率調<修士>

単位：%

(過年度者率＝各年度の在学学生数に対する過年度生数の割合)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人文科学	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
教育学	1.7	9.1	16.7	100.0	0.0	0.0
経済・社会政策	20.0	10.3	7.7	0.0	33.3	50
総合人文社会科学					4.8	3.2
医学系	4.4	1.5	0.0	1.4	1.4	4.5
理工学系(理学)						
理工学系(工学)	100.0					
理工学系(繊維)	100.0	100.0				
理工学系全体	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総合理工学(理学)	2.1	5.4	3	3.5	1.3	1.9
総合理工学(工学)	1.8	2.2	1.5	1.5	1.6	2.5
総合理工学(繊維)	2.5	1.1	2.2	1.4	2.1	2.3
総合理工学(農学)	1.8	0.0	1.8	2.3	2.9	1.5
総合理工学(生命医工)	2.5	2.7	3.7	1.1	4.4	0
総合理工学全体	2.1	2.0	1.9	1.8	2.0	2.1
全体平均	3.1	2.6	2.3	1.8	2.2	2.3
文系平均	8.4	8.7	9.4	2.9	6.2	4.6
理系平均	2.6	2.1	1.9	1.7	2	2.2

※「総合理工学研究科」は平成28年度より新設 ※「総合人文社会科学研究科」は令和2年度より新設

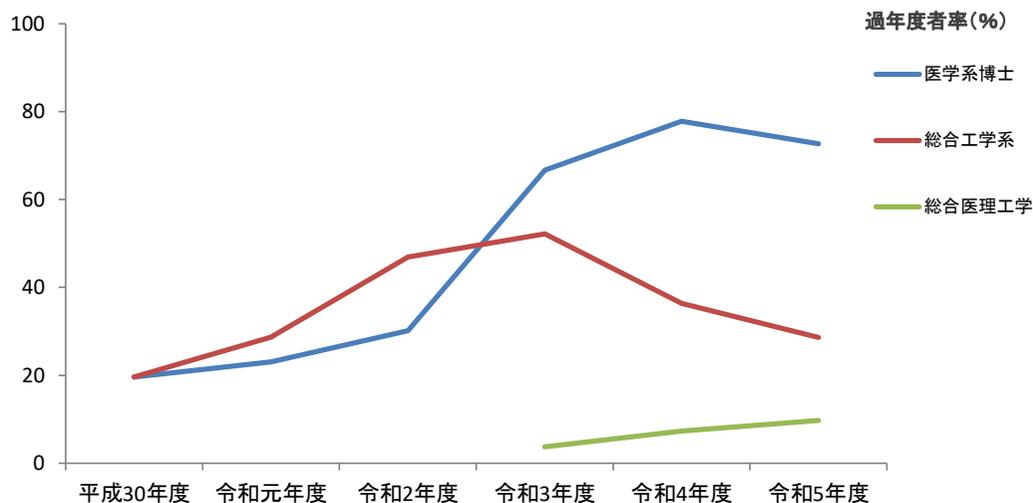


平成30年度～令和5年度 年度別過年度者率調<博士>

(過年度者率=各年度の在学学生数に対する過年度学生の割合) 単位:%

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医学系博士	19.6	23.0	30.2	66.7	77.8	72.7
総合工学系	19.6	28.7	46.9	52.2	36.4	28.6
総合医理工学				3.7	7.3	9.7
全体平均	14.1	12.1	12.1	10.3	11.0	11.6

※「総合医理工学研究科」は平成30(2018)年度より新設

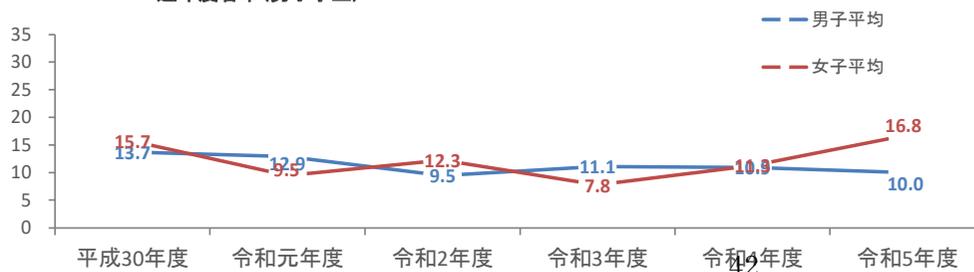


平成30年度～令和5年度 男女別過年度者率の変遷<博士>

単位:%

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男子平均	13.7	12.9	9.5	11.1	10.9	10.0
女子平均	15.7	9.5	12.3	7.8	11.3	16.8

過年度者率(男子学生)



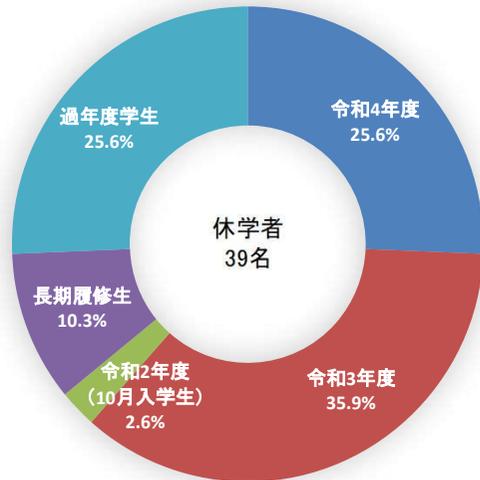
令和4年度における入学年度別休学者調<修士>(その2簡略版)

単位:人

研究科/入学年度	令和4年度		令和3年度		令和2年度 (10月入学生)		長期履修生		過年度学生		合計	
人文科学											0	0
教育学	1										1	0
経済・社会政策									1		1	0
総合人文社会科学											0	0
医学系			2				4				6	0
総合理工学(理学)											0	0
総合理工学(工学)	5		8						5	2	18	2
総合理工学(繊維)	2		3						2		7	0
総合理工学(農学)	2		1						1		4	0
総合理工学(生命医工)					1				1		2	0
計	10	0	14	0	1	0	4	0	10	2	39	2

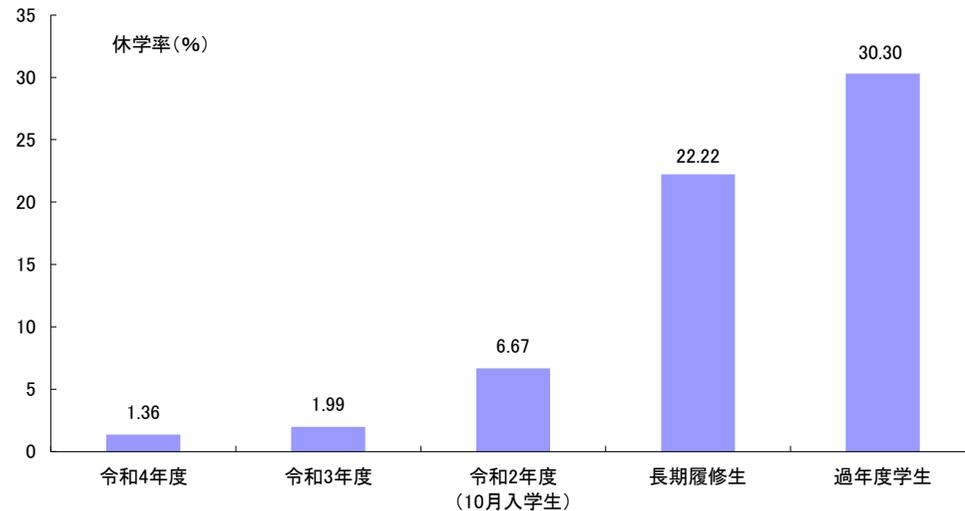
※太枠内は、積極的理由群の「留学のため」で、内数を示す。

休学者の入学年度別割合



在学者総数に占める休学者の割合(入学年度別)

入学年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度 (10月入学生)	長期履修生	過年度学生
休学者数	10	14	1	4	10
在学者数	734	705	15	18	33
休学率(%)	1.36	1.99	6.67	22.22	30.30



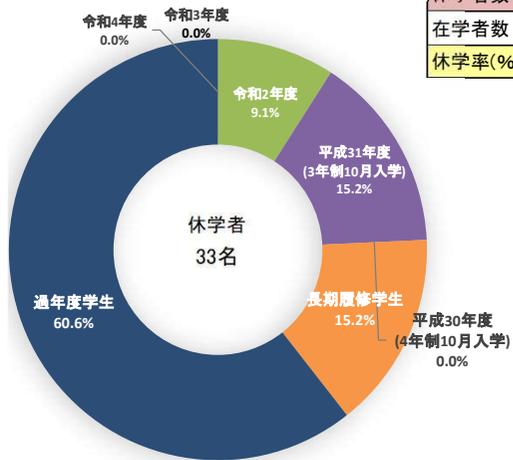
令和4年度における入学年度別休学者調<博士>(その2簡略版)

単位:人

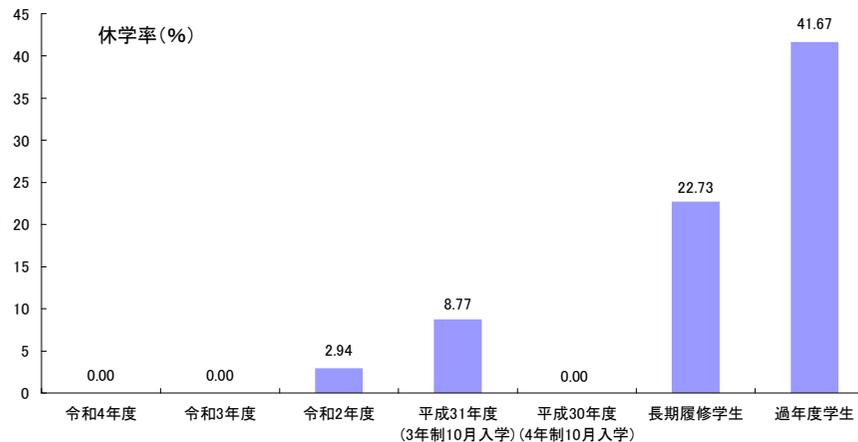
研究科/入学年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度 (3年制10月入学)	平成30年度 (4年制10月入学)	長期履修学生	過年度学生	合計
医学系(博士課程)【4年制】							7	7
医学系(博士後期課程)【3年制】						3		3
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻【3年制】								0
総合工学系 システム開発工学専攻【3年制】						2	1	3
総合工学系 物質創成科学専攻【3年制】								0
総合工学系 山岳地域環境科学専攻【3年制】							1	1
総合工学系 生物・食料科学専攻【3年制】								0
総合医理工学研究科 [医学系専攻](博士課程【4年制】)			1	3			3	7
総合医理工学研究科 [医学系専攻](博士課程【3年制】)							1	1
総合医理工学研究科 [総合理工学専攻](博士課程【3年制】)							5	5
総合医理工学研究科 [生命医工学専攻](博士課程【4年制】)			1	2			2	5
総合医理工学研究科 [生命医工学専攻](博士課程【3年制】)			1					1
計	0	0	3	5	0	5	20	33

※「総合医理工学研究科」は平成30年度より新設。

休学者の入学年度別割合



入学年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度 (3年制10月入学)	平成30年度 (4年制10月入学)	長期履修学生	過年度学生
休学者数	0	0	3	5	0	5	20
在学者数	93	103	102	57	2	22	48
休学率(%)	0.00	0.00	2.94	8.77	0.00	22.73	41.67



令和4年度における入学年度別退学者調<修士>

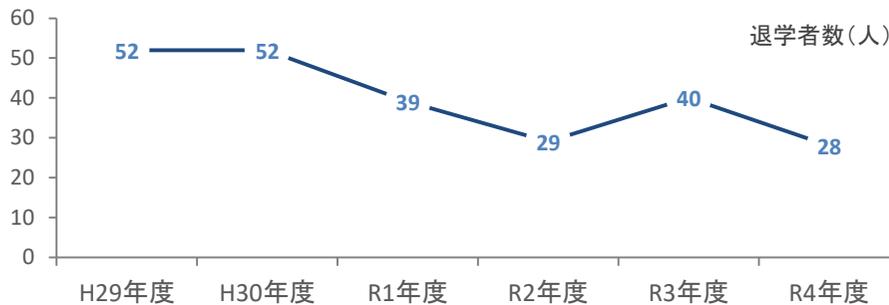
単位:人

研究科	入学年度	令和4年度			令和3年度			令和2年度 (10月入学生)			長期履修学生			過年度学生			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文科学																0	0	0	
教育学			1	1												0	1	1	
経済・社会政策																0	0	0	
総合人文社会科学						1	1									0	1	1	
医学系												1	1	1	1	1	1	2	
総合理工学(理学)					3		3				1		1	1	1	5	0	5	
総合理工学(工学)		3	1	4	6		6						1		1	10	1	11	
総合理工学(繊維)		2		2	1		1									3	0	3	
総合理工学(農学)		1		1		1	1									1	1	2	
総合理工学(生命医工)					1		1	1		1			1		1	3	0	3	
総合理工学全体		6	1	7	11	1	12	1	0	1	1	0	1	3	0	3	22	2	24
計		6	2	8	11	2	13	1	0	1	1	1	2	4	0	4	23	5	28

平成29年度～令和4年度 退学者数などの変遷<修士>

(1)各年度の退学者数

区 分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
退学者数(人)	52	52	39	29	40	28



令和4年度における入学年度別退学者調<博士>

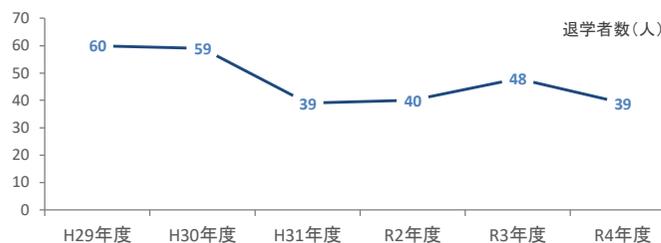
単位:人

研究科	入学年度			令和3年度			令和2年度			令和1年度 (3年制10月入学)			平成30年度 (4年制10月入学)			長期履修学生			過年度学生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
医学系(博士課程)【4年制】			0			0			0			0			0			0	5		5	5	0	5
医学系(博士後期課程)【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻【3年制】			0			0			0			0			0	1	1	2			0	1	1	2
総合工学系 システム開発工学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0	1		1	1	0	1
総合工学系 物質創成科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0	1		1	1	0	1
総合工学系 山岳地域環境科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 生物・食料科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合医理工学研究科 医学系専攻【4年制】			0			0			0	11	2	13	1	1	2			0	2		2	14	3	17
総合医理工学研究科 医学系専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合医理工学研究科 総合理工学専攻【3年制】	2		2	2		2	1		1			0			0			0	3	1	4	8	1	9
総合医理工学研究科 生命医工学専攻【4年制】			0			0			0	1	1	2			0			0			0	1	1	2
総合医理工学研究科 生命医工学専攻【3年制】			0			0	1		1			0			0			0	1		1	2	0	2
計	2	0	2	2	0	2	2	0	2	12	3	15	1	1	2	1	1	2	13	1	14	33	6	39

※ H30年4月より医学系研究科と総合工学系研究科を「医学系専攻」、「総合理工学専攻」、「生命医工学専攻」の3専攻に統合再編「総合医理工学研究科」を設置

平成29年度～令和4年度 退学者数などの変遷<博士>

区分	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
退学者数(人)	60	59	39	40	48	39



施設利用状況 (学生)

* 人数は延人数 ()内は%

業務内容		松本	教育	工学	農学	繊維	合計
101	専任：内科	74 (1.1)	9 (0.5)	12 (0.4)	2 (0.1)	8 (0.4)	105 (0.7)
102	専任：精神科	345 (4.9)	2 (0.1)	1 (0.0)		19 (0.9)	367 (2.3)
106	産業：医療面談						
107	産業：産業医面談		2 (0.1)				2 (0.0)
108	産業：過重労働面談						
109	産業：希望面談						
111	校医：内科	14 (0.2)	6 (0.3)				20 (0.1)
112	校医：精神科	12 (0.2)	1 (0.1)		16 (1.0)	15 (0.7)	44 (0.3)
114	校医：整形外科						
117	校医：産婦人科						
118	校医：皮膚科	3 (0.0)					3 (0.0)
121	他医：医療機関へ紹介	56 (0.8)	18 (0.9)	11 (0.4)		11 (0.5)	96 (0.6)
131	医師：臨時健康診断	1 (0.0)			1 (0.1)		2 (0.0)
132	医師：特別定期健診	77 (1.1)	9 (0.5)	142 (4.9)		296 (13.3)	524 (3.3)
201	検査：身体計測	69 (1.0)	30 (1.6)	7 (0.2)	8 (0.5)	11 (0.5)	125 (0.8)
202	検査：血圧測定	257 (3.7)	58 (3.0)	84 (2.9)	45 (2.7)	92 (4.1)	536 (3.4)
204	検査：尿	135 (1.9)	167 (8.8)	123 (4.2)	70 (4.2)	183 (8.2)	678 (4.3)
205	検査：視聴力・色覚	3 (0.0)	15 (0.8)	2 (0.1)	8 (0.5)	12 (0.5)	40 (0.3)
206	検査：心電図	25 (0.4)					25 (0.2)
207	検査：バイタル測定	25 (0.4)	24 (1.3)	13 (0.4)	14 (0.8)	15 (0.7)	91 (0.6)
211	処置：外傷	50 (0.7)	26 (1.4)	52 (1.8)	35 (2.1)	31 (1.4)	194 (1.2)
212	処置：打撲・捻挫	23 (0.3)	9 (0.5)	13 (0.4)	20 (1.2)	11 (0.5)	76 (0.5)
213	処置：熱傷	4 (0.1)	3 (0.2)	3 (0.1)	6 (0.4)	10 (0.4)	26 (0.2)
214	処置：咬刺症	6 (0.1)	1 (0.1)	5 (0.2)	13 (0.8)	4 (0.2)	29 (0.2)
215	処置：皮膚疾患	3 (0.0)	1 (0.1)		4 (0.2)	3 (0.1)	11 (0.1)
216	処置：その他	2 (0.0)	3 (0.2)	24 (0.8)	5 (0.3)	15 (0.7)	49 (0.3)
221	看護：投薬	4 (0.1)	5 (0.3)		3 (0.2)	4 (0.2)	16 (0.1)
231	看護：健康相談	1,212 (17.4)	459 (24.1)	58 (2.0)	372 (22.5)	273 (12.2)	2,374 (15.2)
235	看護：労働衛生相談		1 (0.1)				1 (0.0)
236	医療機関紹介	28 (0.4)	2 (0.1)	41 (1.4)	32 (1.9)	65 (2.9)	168 (1.1)
238	搬送	7 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.0)	5 (0.3)	4 (0.2)	18 (0.1)
241	看護：インテーク	138 (2.0)	15 (0.8)	20 (0.7)	36 (2.2)	114 (5.1)	323 (2.1)
260	看護：感染症相談	2,436 (34.9)	256 (13.4)	702 (24.2)	331 (20.1)	419 (18.8)	4,144 (26.5)
251	看護：その他	775 (11.1)	116 (6.1)	149 (5.1)	3 (0.2)	54 (2.4)	1,097 (7.0)
305	常勤：心理士の面談	947 (13.6)	458 (24.0)	1,301 (44.8)	488 (29.6)	443 (19.8)	3,637 (23.2)
306	非常勤：心理士の面談	90 (1.3)	61 (3.2)				151 (1.0)
307	学生相談センター						
401	自主：身体計測	20 (0.3)	21 (1.1)	3 (0.1)	52 (3.2)	42 (1.9)	138 (0.9)
402	自主：血圧測定	9 (0.1)	21 (1.1)	1 (0.0)	25 (1.5)	2 (0.1)	58 (0.4)
403	自主：休養	44 (0.6)	26 (1.4)	15 (0.5)	52 (3.2)	21 (0.9)	158 (1.0)
404	自主：その他		11 (0.6)				11 (0.1)
501	健康診断証明書	79 (1.1)	69 (3.6)	120 (4.1)	4 (0.2)	56 (2.5)	328 (2.1)
計		6,973 (100.0)	1,906 (100.0)	2,903 (100.0)	1,650 (100.0)	2,233 (100.0)	15,665 (100.0)

施設利用状況（職員）

* 人数は延人数（ ）内は%

	業務内容	松本	教育	工学	農学	繊維	合計
101	専任：内科	10 (0.9)	7 (3.9)	8 (2.5)		2 (0.4)	27 (1.1)
102	専任：精神科	152 (13.1)		1 (0.3)		6 (1.2)	159 (6.6)
106	産業：医療面談	29 (2.5)	3 (1.7)	3 (0.9)	7 (2.8)	1 (0.2)	43 (1.8)
107	産業：産業医面談	55 (4.8)	3 (1.7)	1 (0.3)	11 (4.4)	5 (1.0)	75 (3.1)
108	産業：過重労働面談	15 (1.3)	1 (0.6)	3 (0.9)		8 (1.6)	27 (1.1)
109	産業：希望面談						
111	校医：内科	1 (0.1)					1 (0.0)
112	校医：精神科	32 (2.8)				5 (1.0)	37 (1.5)
114	校医：整形外科						
117	校医：産婦人科						
118	校医：皮膚科						
121	他医：医療機関へ紹介	12 (1.0)	1 (0.6)	3 (0.9)			16 (0.7)
131	医師：臨時健康診断						
132	医師：特別定期健診	41 (3.5)	2 (1.1)	108 (33.8)	10 (4.0)	98 (19.2)	259 (10.7)
201	検査：身体計測	2 (0.2)	10 (5.6)	13 (4.1)			25 (1.0)
202	検査：血圧測定	2 (0.2)	10 (5.6)	13 (4.1)	3 (1.2)	4 (0.8)	32 (1.3)
204	検査：尿	2 (0.2)		4 (1.3)		2 (0.4)	8 (0.3)
205	検査：視聴力・色覚			12 (3.8)		1 (0.2)	13 (0.5)
206	検査：心電図	2 (0.2)					2 (0.1)
207	検査：バイタル測定	9 (0.8)	14 (7.9)	5 (1.6)	2 (0.8)	3 (0.6)	33 (1.4)
211	処置：外傷	14 (1.2)	8 (4.5)	9 (2.8)	13 (5.2)	8 (1.6)	52 (2.2)
212	処置：打撲・捻挫	9 (0.8)	5 (2.8)	4 (1.3)	3 (1.2)	5 (1.0)	26 (1.1)
213	処置：熱傷						
214	処置：咬刺症	2 (0.2)	4 (2.2)	2 (0.6)	5 (2.0)		13 (0.5)
215	処置：皮膚疾患	2 (0.2)		1 (0.3)	5 (2.0)		8 (0.3)
216	処置：その他	4 (0.3)	2 (1.1)	4 (1.3)	3 (1.2)	10 (2.0)	23 (1.0)
221	看護：投薬	9 (0.8)	3 (1.7)	1 (0.3)	14 (5.6)	17 (3.3)	44 (1.8)
231	看護：健康相談	193 (16.7)	85 (47.8)	21 (6.6)	84 (33.5)	87 (17.1)	470 (19.5)
235	看護：労働衛生相談	269 (23.2)			1 (0.4)		270 (11.2)
236	医療機関紹介	4 (0.3)		5 (1.6)	7 (2.8)	8 (1.6)	24 (1.0)
238	搬送	1 (0.1)			1 (0.4)	1 (0.2)	3 (0.1)
241	看護：インテーク	23 (2.0)	1 (0.6)	2 (0.6)		12 (2.4)	38 (1.6)
260	看護：感染症相談	5 (0.4)	1 (0.6)	5 (1.6)	26 (10.4)	67 (13.1)	104 (4.3)
251	看護：その他	177 (15.3)	5 (2.8)	49 (15.3)	1 (0.4)	6 (1.2)	238 (9.9)
305	常勤：心理士の面談			43 (13.4)	1 (0.4)	1 (0.2)	45 (1.9)
306	非常勤：心理士の面談	19 (1.6)	3 (1.7)				22 (0.9)
307	学生相談センター						
401	自主：身体計測	1 (0.1)	1 (0.6)		3 (1.2)	84 (16.5)	89 (3.7)
402	自主：血圧測定	6 (0.5)	1 (0.6)		47 (18.7)	64 (12.5)	118 (4.9)
403	自主：休養	23 (2.0)	6 (3.4)		4 (1.6)	5 (1.0)	38 (1.6)
404	自主：その他		1 (0.6)				1 (0.0)
501	健康診断証明書	32 (2.8)	1 (0.6)				33 (1.4)
計		1,157 (100.0)	178 (100.0)	320 (100.0)	251 (100.0)	510 (100.0)	2,416 (100.0)

令和6年5月

編集・発行 信州大学総合健康安全センター

〒390-8621

長野県松本市旭 3-1-1

電話 (0263) 37-2157・3516

FAX (0263) 37-3514